

## 教員コメント

科目名	11001	ベーシック数理 I
-----	-------	-----------

## ①自己評価

ベーシック数理では、人々が社会活動を営むときのベーシックな思考プロセスにおいて暗黙に前提としている数理的諸項目を取り上げる。数理 I では、社会で生じる問題解決において必要となる判断推理と数的処理の中から次の内容を、問題演習形式を主体にした教育方法で実施した。すなわち、日常言語の推論で中心となる条件文の論理関係、情報をクロス表で整理する方法、対応関係を判断し推理する手法、整数の性質（約数・倍数・剰余）の利用、数列の規則性の活用、方程式による問題状況の表現などである。授業内容のボリューム（問6）に関する結果では、半数が「適当である」と回答しているが、一方で残りの半数が「かなり多い・やや多い」となっている。また、授業の難易度（問7）に関する結果を見ると、70%以上が「難しい」となっている。一方で、担当教員の説明の分かりやすさ（問8）に関する結果では、60%が「わかりやすい」と回答している。自己評価としては、90分で扱う問題は3、4題であり、通常で考えればけっこう多いとは思われないので、ボリュームをこれ以上少なくすることは考えられない。昨年までの違いは、授業の3、4回分に1回の割で、その3、4回分の確認問題に取り組むスケジュールにした。これで1 Semester 間に4回の確認テストを実施したことになる。難易度の問7で「難しい」と答えた学生も、説明の分かりやすさの問8で「わかりやすい」と回答した理由は、この確認の時間を十分にとったからではないかと考えている。

## ②評価に対する教員の思い

アンケートの設問で、一番に重要と考えているのは、学習意欲が刺激されるかを問う問16ではないだろうか。結果を見ると、「かなり刺激される」8.7%、「ある程度刺激される」47.8%、「あまり刺激されない」34.8%、「全く刺激されない」4.3%となっている。この割合をどう見ればよいか。昨年度のアンケートよりは、幾分の改善が見られるのであるが、刺激されない2項目合計が約40%であり、まだまだ改善すべきであろう。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学習意欲を刺激するためには、数理的思考への興味を喚起する適切な問題を用意する必要がある。これまでもテキスト改訂のたびに問題の差し替えを検討してきたが、今後も検討を継続する。さらに、問題の意味を理解してもらうために、説明により具体性をもたせる必要がある。社会活動の具体的状況から数理的手法がどのように問題解決に結びつくかを、聞き手が思い描けるようなエピソードを語れると理想である。学生が思わず耳を傾けたいくなる話題を収集していきたいと考えている。

## 教員コメント

科目名	11002	ベーシック数理 I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

授業実施において肝要と考えられる主な項目について自己評価を述べます。**項目 1**への回答に見られるように各学生の出席は良好であり、授業実施曜日時限が月曜日1時限であること、放課後の諸活動をあわせて考慮すると良好である度合いはきわめて高いといえます。**項目 7 + 項目 9**への回答はテキスト・レジュメ・授業内容の学生にとっての難易度と主観的有効性を示します。この点は、若干のばらつきがあります。こうしたばらつきは、おそらくは、SPI 2などの就職試験等の対策の観点からのものではなく学生の授業内容吸収の受け皿が大きく分散しているのではないかと思います。なお、時折レジュメに誤植が散見され、授業前の点検を反映させ学生へその都度修正するように指示したのでおそらくは、レジュメの誤植が主な原因ではないと考えられます。担当者による板書中の計算間違いとそれが受講者へ跳ね返ることによって生じる混乱はほぼ皆無であったと考えていますが、どうでしょうか。**項目 1 2**授業中の私語は、出席率に比較して、芳しいといえる状況ではありません。2、3度、根拠を示しながら、私語がなぜ有害であるかを叱咤激励したつもりであったが、成功したとはいえないと考えています。おそらくは理屈で割り切れるものではないのでしょうか。後期は席順をローテーションさせるなどの工夫を行い、受講者各位に今一度授業態度の反省を促したいと思います。**項目 1 6**これは生涯学習（教養主義的なもの以外の積み残した知識を独学で取り返したり、新たな局面である程度自力で勉強するといったことも含む広義の学習）につながる大学での授業にとって、決定的ともいえる項目です。リメディアル的な部分も含め学習意欲がかなり刺激されなかったのは、授業実施体制上の問題もあるかもしれませんが、**項目 2 1**での授業担当者と学生との交流の機会をざっくりばらんに設けて、陰に陽に意欲を刺激するよう努めたいと思います。

### ②評価に対する教員の思い

学生への要望として①でも述べましたが、私語などは慎んで下さい、これが出発点です。あとは、メリハリをつけるようにしてください。メリハリというのは、授業内ですと、口述を聞き取る、板書をノートに記録する、友人と教えあうなどの授業内容についての相談をする、問題を自分ひとりで考え抜く。大学生活では、一人であるいは仲間と勉強する、一人であるいは仲間と課外活動をする、一人であるいは仲間と遊ぶ、といったような事項です。皆が心がけ一つでできることばかりです。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

テキスト内の問題をすべて解き切ることを目標に授業をしています。試験は練習、本試験、再試験の3回実施しました。練習試験は比較的難しい問題を出題しましたが、ほとんどはテキストを復習していればできる問題ばかりでした。復習ができていないな、と感じました。問題解答の即日配布など記憶がぼやけない間にコマめに復習ができるよう後期は配慮します。皆に解いて貰った練習プリントのバックアップと返却も怠らないようにします。

2009年度

## 教員コメント

科目名	11003	ベーシック数理 I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名	11005	経済学史
-----	-------	------

### ①自己評価

アンケートについての全体結果を簡単に記す。出席率は「大体出席」も入れるとほぼ全員(99%)と解釈できる。「疑問解決」に学生が「特に何もしない」(45.4%)にもかかわらず、後の「難易度」や「分かりやすいか」などに対して、「適当」(63.6%)ないしは「やや分かりやすい」(54.5%)と答えているところから、それらは授業時間内で解決されていると思われる。勉学に対する「学生の努力」は、配布される資料が(「役に立っている」(72.8%)と答え、ノートについて(「板書の一部をノート」(54.5%))としているので、学生は事前の予習は「全くしていない」(81.8%)にもかかわらず、「ボリュームは適当」(70.0%)と答えており、難易度も「適当」(63.6%)としているから、この点で学生の不満は少ないと解釈している。教員の準備について学生は、80%以上の評価をしているし、教員の熱意や意欲についても91%があると答えている。教員が自覚して学生の授業態度を注意したことが皆無ではなかったが、学生も「私語はなかった」(72.7%)と答えている。設問の5にある「シラバスの効用」が、「あまり役に立たなかった」(36.4%)としているのは、今後の改善の参考となる。残念ながら、シラバスが学生にあまり活用されていない。また、実際には行われている「授業改善シート」が、「実施されなかった」(54.5%)と誤って回答されていることにも学生の関心の薄さが出ている。教員から学生に対して何らかの説明があったかとの質問には、「ある程度説明があった」(45.5%)となっており、学生が教員の説明的な姿勢は受け入れていると解釈する。「学習意欲への刺激」は72%以上の学生が是認しているので評価されいると解する。それは、「他の学生にも薦めたい」

### ②評価に対する教員の思い

マイナス評価では、シラバスが履修に役立ったかとの質問に、ある程度であれ「役立った」(46%)と、「あまり役に立たなかった」も含めて、「役に立たなかった」(45.5%)との合計がほぼ同数値を示したことを重視する。こうした大学からの資料があまり読まれていない証左である。それは、「履修動機」に、「興味関心」(36.4%)がある反面、「時間割上の都合」(63.6%)を挙げている点にも言える。学生諸君の前向きな授業への取り組みを期待する。私は毎回小テストを実施して学生の理解度を確かめているし、毎回ではないが、次の時間に小テスト結果に対するコメントをしている。また、一方的になりやすい講義にも、学生の発言を引き出す努力はしている。しかし、教室の隅々まで授業に引き込めていると言われると、確たる答えはない。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

上記の①や②から、後期の改善内容や方策は如何にあるべきだろうか。シラバスの徹底については、この講義の担当者だけでなく、全講義担当者が実際に学生に読ませるものとする工夫が要求される。それは内容の難易ではない。講義授業を受けるためにはあらかじめシラバスを読んでおかなければならない状況を作り出すことである。本学の学生に限られる訳ではないが、そうした方向での学生の授業に対する積極的な姿勢を向上させる工夫が必要とされる。設備環境面での改善は、出席学生の半数が、「満足している」(45.5%)としているのにもかかわらず、いわゆる視聴覚機器の導入を希望している。ビデオ、パワーポイント、カラープリンターなど(合計54.6%)が列挙されているから、本講義でも既に使用はしているが、その頻度を上げて、学生の希望に答える工夫をしたい。私はできるだけ講義時間内のことは講義時間内で解決するのをモットーとしている。そのために同じ講義であっても、講義の準備は毎回新たにやり直している。学生の人数、構成がその年によって異なるからである。小テストの回答に対するコメントを工夫することで、教員と学生の双方向のコミュニケーションが成立するよう努力を継続したい。

## 教員コメント

科目名	11050	デッサン
-----	-------	------

## ①自己評価

「授業に対する熱意や意欲は感じられたか」の質問にある程度感じられた以上が100%の数字が出てる一方で、「刺激されたか」の質問で、あまり刺激を受けなかったが11.1%である。あまり刺激を受けなかったと回答した受講生のことも、これから対応していかなければならない。出席状況で「半分位出席している」が33.3%と非常に多い。これは4回生以上の受講生が多いためと考える。これは受講生に聞くと就職活動のために欠席しているとの事である。また、この授業は、月曜日の1時間目ということで朝が弱いということも受講生から聞いた。「説明がわかりやすいですか」の質問で、ややわかりにくいのが22.2%の数字が出ている。専門用語の説明もしているが、やはり、ゆっくりと、確認しながら授業を進めるようにしたい。このことは、今後の授業の進め方に工夫が必要で、重要である。

## ②評価に対する教員の思い

まずシラバスを読まなかったが12.5%であるが、やはりきっちり読んでもらいたい。授業1回目にシラバスについて、きちっと説明しているが、授業の概要がわかれば授業も楽しく学習できると考える。この授業は出席重視ですが、半分しか出席していないが33.3%である。理由はわかるが、授業の特性から連続して出席してもらわないと、授業の内容を理解しがたい。出席率を高めてもらいたい。毎回おもうことですが受身の授業ではなく、この授業をとおして自発的な問題発見、解決能力を身に付けてもらいたい。わからないことがあれば、どんどん質問してください。この授業をきっかけに、向上心を持ってもらいたいと期待している。又、より深く、受講生の皆さん方とより深いコミュニケーションを取りたいとおもっていますからいつでも、何でもいいですから声を掛けてください。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

まずシラバスを後期のはじめにしっかり説明したい。連続欠席があっても必ず、授業のエキスを教えま。後期は難易度が上がりますから、出来るだけ解りやすく、徹底的に個人指導します。これが刺激につながると思う。より深くコミュニケーションを取ります。以上のことを受講生と対話し、確認しながら授業を進める。教える側と、受講生とのよき信頼関係の構築を目標とする。

2009年度

## 教員コメント

科目名	11052	オペレーティングシステム
-----	-------	--------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 11100 | 歴史学B-1

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	12001	日本語(語彙・読解) I
-----	-------	--------------

### ①自己評価

出席率と回答率が高く、学習に対しても意欲のあるクラスだと思う。授業以外の時間にも学習に対する質問や相談などがあり、交流ができていると思う。授業中の雰囲気がよく、学生も積極的に質問したり提案したりするので、担当者にも刺激を与える。また、理解度や満足度について肯定的な回答が多いので、ある程度の評価を得られたと思う。

### ②評価に対する教員の思い

ノートを取らない学生もおり、それを気が付かなかったので、さらに学生に目を配ることが必要だと思う。また、授業以外の時間には全く勉強しない人もおり、これから宿題などを配布する工夫も必要だと思う。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

期末テキストの成績は普段の練習より落ちるので、少し意外であり、これからは内容などについてさらに詳しく説明し、普段でも小テストなどして授業の改善を図りたいと思う。また、語学力について差が大きいため、授業にも支障をもたらす。克服するには学外時間やe-ラーニング、教具などを利用するなどのことも考え、効率的な授業、学生が満足できる授業の改善を図っていく。



## 教員コメント

科目名	12002	日本語(語彙・読解) I
-----	-------	--------------

## ①自己評価

アンケートの結果はおおむね想定どおりです。出席率、学生の積極性、授業態度なども良く、ある程度満足できるものです。授業の準備は事前にかなり入念にしていますので、そのあたりは学生に伝わっていると思います。しかし、授業のボリュームについてはかなり多いと回答した学生もおり、私自身も、決められた時間内で、毎回目標を達成するのにやや時間不足を感じています。そのため、ともすると、説明が不十分になってしまうことも否めません。一方的な授業ではなく、学生と対話しながらレベルアップを図りたいと授業を進めていますが、時間の範囲内での困難さを感じています。自学学習に関しては、彼らが留学生であり、アルバイトも生活のための重要な要素になっているので、**home work**をできるだけ少なくしています。しかし、自学学習については大学生としてももう少し増やしてもよいのではないかと考えています。

## ②評価に対する教員の思い

まず、「学習意欲があまり刺激されない」と回答した学生へは、「文字・語彙」は、できるだけ使えるもの、使用頻度の高いもの、また、大学生として知っておいてほしいものを提示するようにしていますが、シラバスに沿って提示していかなければならないので、取捨選択が難しいところです。「工夫してもらいたいと思うもの・・・板書」という回答についてわかりやすい、丁寧な板書を心掛けてはいるのですが、それをすると板書に時間を割き学生に背中を向けることになってしまうので、「速くて、丁寧、」は、なかなか両立できなくて難しいところです。視覚的にはもう工夫したいと思います。「話題、例示の妥当性」について学生がよりアカデミックな話題や例示を求めているのか、もしくは、もっと身近なわかりやすいものを求めているのかそのあたりのことを知りたいです。「ビデオ・DVDなどの視聴」は私も利用したいと思っていますが、教室内に設備がありません。大学側に依頼してみたいと思います。「Power Pint」「カラープリント」設備上、無理なような気がします。学生の皆さんには、さらに積極的に授業に参加し、発話をして、知識だけではなく、生きた日本語を学んでほしいと思います。

## ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

「読解」に関しては、後期の授業で「新聞記事、新書、時事」なども取り扱って、より学習意欲が刺激されるものにしていきたいと考えています。その中で、理解語彙、使用語彙の拡張を図りたいと思います。そして、それらが日本語の学習のみならず、日本の文化や歴史、生活への理解を深めることに役立つと考えます。ボリュームに関しては、やはり自学学習を増やすことで、習熟度向上に結び付けたいと思っています。また、学生とさらに交流を図ることで、ニーズに合ったより適切な授業展開がなされると思います。

2009年度

## 教員コメント

科目名	12005	民族問題
-----	-------	------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 12006 | 奈良の歴史

### ①自己評価

世界遺産に登録された古都奈良の文化財を中心に、平城遷都1300年や高松塚古墳壁画解体修理などのタイムリーな話題を取り入れながら、歴史的背景を探って来た。あわせて奈良で学ぶことの有意義性を説いた。限られた時間内でいかに受講生個々の興味・関心を高め、問題意識を培うことができるか、これが最重要テーマであった。視聴覚資料を活用しつつ、法隆寺や奈良国立博物館見学などを実施し一応の手応えを得たと思う。講義内容が時として脇道にそれすぎたりしたが、今後の課題としたい。

### ②評価に対する教員の思い

文化財を題材に歴史的背景や先人の美意識について学ぶことは、ひいては受講生個々の創造力の育成に寄与できるものである。その狙いからして設問16は重要項目と考える。回答を真摯に受けとめたい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

基本的には1.と同じで、臨地学習を複数回実施できれば歴史を学ぶ楽しさ面白さは倍増するのではないかと考える。晩秋を彩る古都奈良の風物詩、正倉院展にはぜひ訪れたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	12008	日本国憲法
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	12107	行政書士関連科目
-----	-------	----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	12052	経営工学
-----	-------	------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 13001 | ITリテラシー I

### ①自己評価

講義ではまずもって誰一人落ちこぼれないようにすることを目標とした。とくにタイピングでは個人差が生じやすく、上達する受講生ばかりではないため、何度となく繰り返し練習することとした。また、一つの作業をなんども繰り返す、また繰り返し説明をした。このような実践から、アンケートでは講義内容について分量が適当であること、また説明はわかりやすいとの回答が多くみうけられた。担当者としては目的を達成したものと思う。ただし、私語対策については評価が低いように思われる。担当者としては、いかに講義中の作業に集中させるか、大きな課題であると認識している。

### ②評価に対する教員の思い

担当者としては、講義内容について全体的に肯定的な評価であったと認識している。ただ、一部の受講生は講義内容の物足りなさ、あるいは同じ作業を繰り返すことの単調さに不満をおぼえたものと思う。しかし、担当者としては誰も落ちこぼれぬように今後も進めるつもりなので、講義中の作業を他の受講生より早く終えてしまった場合は、遅れている受講生をサポートするなどしていただきたい。自ら率先して困っている受講生を助けるというのも、「学ぶ」ということに含まれると担当者は考える。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

アンケートをみると、出席率はよいものの、自習を全くしていないとの回答が多かった。これは、講義で学んだことが身につかないのではないかと危惧する。したがって、後期では自宅でも復習する、あるいは大学で復習するといった、基本的な学習習慣を身につけられるように、課題をだすようにしていきたい。また、前期では最も遅れをとりそうな受講生に講義内容を合わせてきたが、これでは再度講義内容に不満を覚える受講生も出てくると考える。したがって、講義内容を得意とする受講生が、不得意な受講生を助けるということで、相互に講義内容への理解を高められるよう講義内容を組み立てていきたいと考える。

## 教員コメント

科目名 | 13002 | 経済入門

### ①自己評価

第17設問の「この授業を他の学生にも薦めたいですか。」に対して、「ぜひ薦めたい」が90.9%に達していることは、この授業が基本的に成功したと評価できる根拠だと思われる。また、第6設問の「この授業内容のボリューム（分量）は適当ですか。」に対して、「適当である」が72.7%であることから、来年度も基本的に本年度の授業構成を継承することが適切であろう。とかく問題にされがちな野球部クラスにおいて、第12設問の回答で「私語はなかった」が90.9%に達していることは、他の野球部クラスの授業にも参考になるかもしれない。

### ②評価に対する教員の思い

「想定外のマイナス評価」は幸いなかったので、反論はない。あえて言えば、第20設問の「この授業で工夫してもらいたいと思うもの」に対する回答で、「上手な板書」が40%に達していることは注意すべき点である。所定の時間内に説明すべきと思うばかりに時には字が乱れるが、最低限学生が判読できる板書を心がけるべき、と自戒している。他方、学生諸君には原則的に欠席しないことを要求したい。野球部の公式試合のため、どうしても欠席を避けられない日があることは理解でき、私も叱責しない。しかし、これは公式試合以外の事情でも出席しなくてもいい、という意味ではない。たとえ野球部関連でも、自主練習よりも授業の出席が優先されるべきだということを、他の授業においても銘記してほしい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題



## 教員コメント

科目名	13003	コーティング論
-----	-------	---------

## ①自己評価

履修登録者が例年20名前後でそのうち出席者が10名弱であった。しかし、今年は登録者82名、常時出席者約60名であった。初めての大教室での授業であり、当初は戸惑う。シラバス通り出席重視（欠席回数4回未満の者を評価対象とする）のため、毎回出席点呼を取ったが、返事をしたら席を立つ学生がいるなど労力を要したが、どうにか把握することができた。授業内容については、量的にも質的にも適当であった。大勢の受講生が、留学生・スポーツ系学生・一般学生とそれぞれ集団を作って着席しており、私語が多かった。注意はするものの皆無にはできなかった。試験はノートのみ持ち込み可ということで、第1回目の授業で予告、実施したものの59名中、秀優は16名であった。板書（試験の答えといえる）を中心に、時々プリントを配布などしたが、試験の結果は芳しい成績ではなかった。課題としては、板書のみだれと私語の執拗な注意である。

## ②評価に対する教員の思い

アンケート結果は、良くも悪くもなくという評価と言える。後は、学生が希望する「上手な板書」「ビデオ、DVDの視聴」を改善すること。また、「私語を何とかしてほしい」という意見もあり、執拗に注意をしたい。「遅刻・欠席が厳しい」には、時間厳守・休まないこと、は継続して強化する。「字が読みにくい」は多分、書き疲れた時の字のみだれであると思われ、注意・集中する。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

後期も、履修登録者数によって教室が決定するので何とも言えないが、大教室を使用する場合は前期の反省を踏まえる。「出席点呼」「板書のみだれ」「私語の注意」などうまく授業を行う。出来ればビデオの活用を増やしたいが、そのたびに教室を移動しなければならず、学生からの不満が予測される。教室の改善が必要であろう。後期は、暗記させることを試す。

2009年度

## 教員コメント

科目名	13010	行政法
-----	-------	-----

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	13055	ネットワークプログラミング
-----	-------	---------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	13008	ITリテラシー I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 13009 | 地方自治論

### ①自己評価

授業について、「説明は分かりやすい」と「他の学生にも薦めたい」がともに83%である。しかし、「難しい」が83%、「ボリュームが多い」が66.6%あり、改善の必要がある。教員との交流として「教室外での対話」が50%、「レポートによる感想や意見」が33%あり、教室内外での対話、交流に努める必要がある。「自学自習していない」が41.7%、「学習意欲が刺激されない」が25%あり、学生の学習意欲を高めることが重要課題である。

### ②評価に対する教員の思い

府県や市町村という地方自治体は、住民福祉の向上と地域の発展のために、様々な行政を実施している。そして、いま、地方分権改革が進められ、解決すべき課題が次々と出てきている。このような地方自治の動向については、新聞、テレビ等で日々報じられている。新聞をよく読んで地方自治への関心を強め、直面する課題について考えるようにしてほしい。そして、身近な存在である地方自治を学習する意欲を高めてほしい。授業には是非出席してほしい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生の学習意欲を高めるため、身近なテーマ、ホットなテーマをとりあげ、教材として活用する。イ. 行政の現場に出向き、実地見学を行う。学生の理解度を高めるため、レポートによる意見発表を行う。イ. 板書は丁寧にする。学生との対話、交流を充実するため、少人数授業のメリットを活かし、個々の学生と向き合い、対話する。イ. 学生間のディベートの場を設ける。

## 教員コメント

科目名 | 14050 | プログラミング基礎

## ①自己評価

本講義の履修登録者63名のうち、出席率50%以上が9割強、同75%以上が8割強であり、前期を通して、多くの受講生が積極的に講義に取り組んでくれた。授業アンケートの回答者46名は履修登録者の7割強にあたり、アンケート結果には、出席率のよい学生の意見が強く反映されていると考えられる。本講義は、主に1年次生を対象としたプログラミングの入門科目である。プログラミング初心者も多く参加したためか、「(問7)授業が難しい」と感じた受講生が7割弱と半数を超えた。ただし、「(問6)授業内容の分量」は、7割弱の受講生が適切としていることから、「授業の難しさ」は分量の問題ではなく、講義で取り上げた題材に起因する。本講義ではプログラム開発の可能性を感じてもらうために、視覚的に効果が確認しやすいWindowsアプリケーションの開発を題材に選んだ。その際、関数の取り扱いを中心に解説し、開発言語の文法は軽く紹介する程度にとどめたため、講義内容の理解が深まらず、難しさを感じさせた結果につながった可能性がある。約7割の受講生が「(問16)学習意欲を刺激された」と答えているにも関わらず、約5割の受講生は「(問4)自学自習を全くしていない」と答えている。プログラミング技能の習得は、プログラム開発の経験を積み重ねていくことが重要であり、自学自習を促す工夫が必要となる。

## ②評価に対する教員の思い

情報学部生にとって、プログラミング技能の習得は必須とも言える。プログラミングの入門科目である本講義の目的のひとつは、プログラミングへの興味・関心を引き出すことにある。その点で「(問16)学習意欲を刺激された」学生が多かったことは幸いであった。ただし、「(問7)授業が難しい」と感じた受講生が7割弱を占めており、必ずしも講義内容を十分に理解し、初歩的なプログラミング技能を身に付けることができたとは言えないかもしれない。プログラミング技能を習得するためには、「何かプログラムを作りたい」という欲求をもつことが必要である。ゲームでもよいので、作りたいものを探し出し、試行錯誤を通して、プログラム開発にチャレンジしていった欲しい。分からない点やクリアできない障壁に出くわしたときには、教員を活用してもらえればと思う。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

受講生の7割弱が「(問7)授業が難しい」と答えている。プログラミング初心者にとって、プログラミングに関する事柄がある程度難しく感じることは当然のこととは言えるものの、全く理解できないほど難しくては受講する意義が薄れてしまう。本講義では、図形の描画からイベント処理、マウスポインタの設定まで、Windowsアプリケーションの開発にちなんだ幅広い題材を取り上げた。そのため、講義各回の間で互いの関連性が薄かった面がある。次年度は、関連性の深い題材に絞り、前回までの講義で学んだ事柄が活かせるような講義内容を組み立てていく必要がある。講義終了前10～15分程度を使って、毎回、課題を提示し、学習内容の復習を行なうようにしていた。提出期限を講義終了時に設定するなど、時間的な制約もあり、課題内容は簡易なものが多かったかと思う。帰宅後の自学自習を促すためにも、課題の難易度を少し上げ、後日、mailで回答を提出するようにしてもよいかと考えている。

2009年度

## 教員コメント

科目名	14161	情報と言語 I
-----	-------	---------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	14052	ベンチャー企業論
-----	-------	----------

### ①自己評価

アンケート結果より本科目を受講された皆さんに「自学自習」の機会提供をもっと行ってもよかったですのではないかと思います。これは「授業にどれほど準備をしているか？」の点数が高いのを見れば裏づけされています。今後は配布資料の工夫により受講する皆さんと授業を通じて一緒にビジネスプランを作り上げていくような内容を目指していきたいと思えます。また、授業当日 独自に行った授業感想文で大変好評であったベンチャー企業社長をゲストスピーカーに迎えての授業も出来るだけ今後も実施していきたいと考えています。課題としてはコメントにありました「教室外で授業を受けたい」というリクエストに対応できにくい状況にあることが挙げられます。十分な事前調整を行った上で今後は積極的に対応していきたいと考えています。

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名 | 21003 | 英語コミュニケーション I

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 21002 | 英語コミュニケーション I

### ①自己評価

授業内容のボリュームに関しては、その週に授業で扱うユニットにもよるとは思うが、多いという意見がやや多かった点が気になった。難易度に関しては、授業内容のレベルとしては極めて基礎的なものしか扱っていないにもかかわらず難しいと適当が大体半々であり、対応の難しさを改めて感じた。説明の分かりやすさについてはプラスの評価の方がある多めではあったとは言えるが、まだまだというところであろう。また工夫してほしいと思うものに上手な板書という意見が依然少なからずあったのは大きな反省点であろう。

### ②評価に対する教員の思い

一部の学生に対して言いたいことだが、出席とテキスト持参という最低限の義務は守ってもらいたいものである。ましてや英語が苦手という学生についてはなおさらのことであろう。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

授業のボリューム感については、ユニットごとにある程度違いがあるだろうが、多いと感じられることがあるのは確かであろう。ただ、扱っている内容は非常に基礎的なものが多いので、それぐらいは辛抱してもらいたいと思う。難易度に関しては、繰り返しになるが、非常に基礎的なものが中心なので、英語が苦手な学生でも、遅刻や欠席をせず一から初心になってちゃんと向き合ってもらえれば、分からないはずがないと思うのだが、必ずしもなかなかそうはいかないようであり、また他方で授業内容が簡単すぎとの指摘も一部にあり、毎年のように苦慮させられるところであり、どちらに対しても納得のいくようなバランスの取れた授業を現在も目指しているところであり、今後も目指していくということに何ら変わりはない。板書については、毎回大きな注意を払っているつもりであるが、各ドリルの答えの例文をすべて板書しているため板書の量とそれの伴う少なからぬ労力のため、なかなか難しいものがあるが、引き続き細心の注意を払っていきたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	21053	WEBサイト開発演習
-----	-------	------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 21015 | ITリテラシー I

### ①自己評価

野球部のみの受講生は出席状況が比較的良いと思われる。いろいろ講義内容を考え、理解されるよう、毎回毎回、野球に関する講義内容と説明方法を研究し、理解されるよう努力した。特に、実習中心の授業においては、補助プリントを配布したので、それなりに理解されたようである。いずれにしても、今後とも野球部のみの受講生の要望を聴取し、それに合わせるべきであれば合わせ予定である。

### ②評価に対する教員の思い

野球部のみの学生であるが、いろいろな意味において多様化するために、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

後期はエクセルやパワーポイントの実習となるので、野球や実務で使用される用語や方法を例に取り上げて実習することになっている。このため、難しいとの意見ができれば、レベルをさげることも試行してみたい。各種資格試験の内容を希望する受講生もあり、受講生も頑張って実習についてきてもらいたいものである。ただし、勉強意欲のある受講生の要望を聞きながら、内容や講義方法をいろいろ考える予定である。

## 教員コメント

科目名 | 21057 | 映像技術 I

### ①自己評価

分布表 5段階の評定平均を全体平均からみると、ほぼ平均的な方向にはある。そのなかで「ノートを取らない」「自学自習をしない」「シラバスを読まなかった」が3.0を下回っている。これらは全体平均のデータから比較しても低く、履修熱意の薄さが現れている。質問⑩の学習意欲については、「ある程度刺激される」以上が62.5%ある。履修動機の質問⑱では授業へ向かう積極性が2極化されていることがわかる。出席率の低さも2極化の現れで、少ないサンプル数の中でもそれが現れている。質問⑧・⑨・⑩・⑪ではある程度の評価を受け、また⑰の「この授業を他の学生にも薦めたい」というところも評価できる。「授業改善シート」に関する回答には矛盾がある。

### ②評価に対する教員の思い

出席率の低さが気になる。パソコンとソフトの台数から履修人数の制限をしているが、出席率が悪いと席が空き、本来履修したい者の機会を奪うことになる。履修登録者はそのことも考えて、朝一ではあるが負けないで頑張って積極的に出席して欲しい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

専門性の高い授業でもあり、本来難解な事項を簡単に説明しようとする、返って論理的なところが見えなくなるジレンマがあるが、少しでも分かってもらえるような表現を考えて、より理解できるように工夫していきたい。また広範囲な授業内容を狭めたり割愛したりして、ゆったりと理解を深められる分量も考えていきたい。難易度が「やや難しい」という所は望むところであるので、教室外での対話はぜひやっていきたいものである。より興味があれば課外活動なども可能である。

## 教員コメント

科目名	22001	キャリアデザイン I
-----	-------	------------

## ①自己評価

特に、問8、11、16、17について、評価向上するよう努力して行きたいと考えています。今回、問11、16が全体平均を上回り、問8、17が全体平均とほぼ同程度、という結果になっていますが、それぞれがさらに上回るように取り組んで行きたいと思います。加えて、問12が全体を下回っていますので、この対策も検討して参りたいと思います。直接的な私語対策というのではなく、結果的に私語がなくなるような本質的な対策に取り組んで参りたいと考えています。しかし、目的を持った授業で、私語対策すること自体が、授業で教えようとしていること反するという、私語対策によって真面目に授業を受けている人たちにマイナスの影響があるということ、などの側面があり、簡単に解決できる問題ではないと考えています。抜本的には、授業の枠を超えて、「私語対策」を目的とした対策や、カリキュラムを考えることが本質的の必要だと考えていますが、授業の進行の中でできる方策を考えて実行して参ります。

## ②評価に対する教員の思い

履修人数が多いこと、必修であることから、生徒の特性や関心事、取り組むべき課題、取り組む姿勢などが、ひとり一人異なっており、全体として非常に幅広く、何かを教えるというよりは、ひとり一人が考え、気づき、行動に変える、という授業性格上、ひとり一人のニーズに答える授業運営が非常に難しい状況があります。そのため基本的には、ある程度方向性近いグループに、クラス自体を分けて運営することが望ましいと考えています。大人数で、受講姿勢もまちまちな中で、こうした授業を構成、進行させていくのは容易なことではありません。しかし、授業本来の目的、受講生の成長度などの観点から、最適な運営方法を都度、学生の反応を確認しながら、柔軟性を持って取り組んで参りたいと考えています。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生の志向に応じた授業を進めて行きたいと思います。画一的な内容や進め方ではなく、学生の志向性によるカテゴライズを意識し、内容や進行について、ある程度の幅を持たせた構成を検討していきたいと思っています。前期授業を通じて、学生の顔や姿勢などをかなり肌で感じる事ができました。本来そうした学生の志向を踏まえて、後期のステップとしてある程度、選択肢を持って取り組んでいくことが望ましいと考えています。大人数が一堂に会するという制約の中では、大変難しい取り組みになりますが、可能な範囲でできることを工夫を凝らして行って参りたいと考えています。

## 教員コメント

科目名 | 22058 | 情報と音楽 I

## ①自己評価

想定内のアンケート結果であったと思います。今後も、現在の授業の取り組み方で様子を見ていきたいと思ひます。ただ、今年度は、例年に比べて3項にある「ノートを取る人が少ない」ように思ひました。（アンケートとしては初めての内容）無論、それは学生諸君の個々の問題として捉えています、私側の要因のひとつとしては、デジタル教材の推進化・自学自習対策の一環（4項）・授業内容についていけない人のための対策の一環として、教材を充実させた改善策の逆作用であると考えています。結果、その教材をノート代わりに引用してしまいノートを取らない人が増えているのではないかと分析しています。後期は、状況に応じて教材の内容をカットすることも含め、デジタル教材の在り方を検討してみる事にします。

## ②評価に対する教員の思ひ

13、14項の質問に対する回答で戸惑いを感じている人が多いように思ひます。それは当然の結果で、「授業改善シート」につきましては、私自信がその存在すらも知り得ませんでした。何かの手違いであったように思ひますので、今後の指示を仰ぎたいと思ひます。例年のアンケートでもわかるように、本授業の課題は「自学自習をしていない」人への対策にあります。本授業は、専門性が高いので学生諸君にとって「自学自習」は大変難しいとは思ひますが、今般、様々なメディアの重要な一翼を担うDTM（DAW）を習熟しておかれる事は、将来において必ず役立つであろうと思ひます。ビデオの試聴や上手な板書きという希望もありましたが、前者に関しては、既に有効である授業内容の時に実施していますし、後者は私個人のスキルの問題でもあり努力したいと思ひます。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

本授業で使用しているアプリケーションや周辺機器は、高価であるため実習部分の自学自習が難しいと思われまひます。対策としては、昨年度と同様に実習部分をなるべく多くしていきまひます。また、理論部分の対策としては、①の項目でも少し触れていますが、少しでもわかりやすい「教材」の構築を目指して、日々マイナーチェンジを行っていますので、時々教材の再読み込みを行って下さい。

## 教員コメント

科目名 | 22050 | 英語(購読)(前)

### ①自己評価

今回のアンケート項目のうち、授業の難易度と授業内容の分量について、回答は大きく二つに分かれました。適当と答えた人が約半分、残りの半分の方は授業が難しく、分量も多いと答えています。ただし約9割の人がこちらの説明がだいたいわかると答えていますので、その点では現状どおりの授業内容を大きく変える必要はないと考えます。ただし、この授業で学習意欲を刺激されるかという項目では、あまり高い評価がなされていません。また自学自習をしている学生の数もあまり多くありません。それなりに工夫して授業をおこなっているのですが、この点ではもっと学習意欲を刺激するような授業にして、さらに自学自習を促すよう改善する必要があると思います。

### ②評価に対する教員の思い

「英語」という授業科目は、大学に入って初めて勉強するその他多くの科目と違って、皆さんが既に中学、高校で6年間学んできた科目です。大学ではその既に学んできたことをベースにしてそれをさらに発展させるというのが授業の目標になります。ところが実際に入ってくる学生の英語力にはかなりの幅があって、よくできる学生から中学1,2年で習うようなこともわかっていない学生までいるのが現状です。授業は平均的な学生に合わせざるを得ませんが、可能な限り個々の学生の要望にも答えていきたいと思っていますので、授業中わからないことをそのままにしておかないでもっと積極的に質問をしてほしいと思います。またオフィスアワーに限らずいつでも気軽に研究室に訪ねてきてください。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

授業内容についてはこれまでどおり、できるだけレベルを落とさないで進めますが、さらにわかりやすい説明を心がけ、理解度の向上に努めたいと思います。そのため板書の仕方を工夫したり、予習復習してきてもらいたい事柄を具体的に指示したり、特に基本的で重要な文法事項の説明は十分な時間をとっておこなうことなどを考えています。また教室での学生との対話をもっと活発にし、授業への興味関心を引き出すよう努めます。これまでわからなかったことがよくわかり、一年間でかなり英語の力がついたと実感してもらえるような授業になるよう努力していきたいと思っています。



2009年度

## 教員コメント

科目名	22101	マーケティング論
-----	-------	----------

### ①自己評価

自学自習をまったくしていない学生が多いので今後、図書館などで調べて体系化するような課題を与えていきたい。

### ②評価に対する教員の思い

FD委員会で議題にあった「学生の授業態度」と「理解度」の関連の明確化がアンケートに反映されていないので、詳細な分析ができない。今後の改善を望む。しかし、自由筆記欄にあったように、出席していた者にとっては満足できる内容であったことは確信している。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

授業に関して、DVDなどの映像資料の活用が挙げている学生がいるので、より充実させていきたい。またカラープリントの資料などは大学の設備投資に関わるものだと考える。

## 教員コメント

科目名 | 22122 | 現代ビジネス法律事情

### ①自己評価

本アンケートの対象科目は、経営学部開講のため受講登録者の毎回の授業への平均出席率が約30%であるが、このアンケートの内容は、「大体出席している」（50%）人はもちろん残りの50%の「あまり出席していない」人の気持ちを表していると思われる。それゆえ、ここに表れている彼らの意見を重く受け止めなければならないと考えている。さて、アンケートの回答の中で特に気になるのは、授業でのノートの取り方である。私が板書した分だけを写筆が50%、板書の内的一部分だけを写筆するのが50%となっている。これは私にとって意外であり、少しショックを受けている。なぜならば、口述と板書で構成する私の授業のやり方にとって受講生が板書の内的一部分だけを写筆するのでは、復習や試験勉強を行うことが果たして十分可能かどうか疑問である。私が担当する全科目は、口述と板書で行うので、今後はこの点を十分注意していかねばならないと考えている。

### ②評価に対する教員の思い

シラバスの内容、授業内容の分量や難易度、説明の仕方、私の授業に対する熱意や意欲については、それぞれ「適当である」、「かなり分かりやすい」、「かなり感じられる」がともに100%であり、授業準備については「かなりよく」と、「ある程度」を合わせて100%となっていることは、私の平素の授業のやり方や努力が評価されたのかと思う。そして、これらのことが受講生の学習意欲についての「かなり刺激される」と、「ある程度」を合わせて100%という結果になるのであろう。しかし、授業で工夫して欲しい事についての回答で、「話題や例示の妥当性」があることは、これまで授業内容をより理解してもらうために身近な話題や例示を毎回の授業に取り入れていたので、受講生に理解してもらっていたと思っていただけに大いに反省しなければならず、今後は自分の視点だけでなく、受講生との交流をもっと深めて彼らの思いを汲み上げていかねばならないと思っている。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

私が今後担当する全科目において特に注意し努力しなければならないことは、今まで以上に身近な話題や例示を毎回の授業に取り入れ、より身近なことを扱っている授業でありそれが受講生の自己形成と将来の夢の実現に役立つということを、理解してもらう事である。そして、どのような理由でこの科目を受講するようになったかにかかわらず、出席する受講生に前述したような私の思いを繰り返し説明することが必要である。そして、現在の社会とくに企業社会ではどのようなことが生じているのかを事実により理解してもらう。そして、今後の自己形成と夢の実現のための多くの選択肢の中から自分に適合する方法を選ぶためには、しっかりと自分の考えを持つことが必要なので、そのために今学んでいるのだ、ということを受講生諸君により自覚してもらうための努力を、私は今以上に授業の中で行っていかねばならないと思っている。

2009年度

## 教員コメント

科目名	23005	エネルギーと環境
-----	-------	----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 23001 | ITリテラシー I

### ①自己評価

ITリテラシーは必修科目である。今年度は、インターネットの利用、メールの利用、各種アプリケーションソフトの利用だけでなく、情報セキュリティ、情報倫理などとり入れた幅広い内容となっている。ただその分、一つ一つの項目にかけることができる時間が短くなり、知識や技能の定着という点で課題が残った。特に後半のWord演習では、難しいと感じる学生が多かったのではないだろうか。Eラーニングコンテンツを授業に取り入れるなどして授業時間の確保を図ったが、今少し、各單元ごとの時間配分に、検討が必要と考える。

### ②評価に対する教員の思い

必修科目であるにもかかわらず、「大体出席している」～「半分ぐらい出席している」が大勢を占めている。特殊事情が働いた面は否定できないが、PC実習という科目性質上、皆勤の気構えで臨んでもらいたい。また「私語」に対する指摘は大いに反省する部分である。目に余る受講生に対しては、都度、注意警告を与えたつもりであったが、PC操作に対する個別質問対応に多くの労力が費やされた結果、私語に対する配慮の不足を感じる学生が出たものと考え。全体に対する操作解説を今少し工夫し、個別質問を減らすことで、私語に対応する余裕を持つことができるように改善していきたい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

前期に引き続き、学習管理システムを取り入れた授業を行っていくつもりである。受講生が出席状況や課題への取り組み状況等をリアルタイムで確認できることから、学習意欲の喚起につながると考える。特に後期は個別アプリケーションソフトの利用方法を学ぶとともに、それらを総合的に活用したプレゼンテーションの実習を予定している。授業時間中にYoutubeや私語に興じて後半に慌てる学生が見られたが、ひとつひとつの課題を確実にこなすことを要求するとともに、それらを丁寧に確認し評価に反映させることを心がけたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	23004	現代社会と哲学
-----	-------	---------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 23010 | ITリテラシー I (再)

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	24001	TOEIC対策英語 I
-----	-------	-------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 24002 | 現代社会と宗教

### ①自己評価

講義内容が難しいという評価が例年に比べて多かったので、少し驚いています。もっとも、担当教員の説明は分かりやすいかという質問に対しては、みなさんのほとんどが「かなり」と「やや」にマークしておられますね。「内容が難しく説明が分かりやすい」というのは、ある意味、講義の理想です。もっとも、講義の内容そのものに関心をもってくれる人が例年に比べて少なかったのは、私の工夫不足もあろうかと反省しています。毎年、「ノートは黒板に書かれたことを書き写すだけでは不十分」と口を酸っぱくして強調していますが、きちんと対応してくれた人はそれほど多くないようです（少なくともありませんが）。私の速すぎる口調が影響しているとするれば、これも反省点です。講義外での教員との対話を望む人が比較的が多い、というのも、例年と異なるところです。これはもしかしたら、質問しないと分からないことが多い、ということでしょうか。

### ②評価に対する教員の思い

講義内容が難しいという評価に対しては、今後も講義のレベルを下げるつもりはない、とお答えしておきます。もちろん、それを分かりやすく伝える工夫は今後も重ねていくつもりです。口調が速い、という評価はこちらの工夫不足の結果ですから、できるかぎり改善していきます。プリントの活用も検討したいと思います。ただし、それは出席する学生のみさんの側に何の工夫もいらないということではありませぬ。講義内容の全てを黒板に書くことなど不可能である、ということは分かっていたいただきたいし、プリントを活用するとしても、それが板書の代わりになるなどとは思わないで下さい。最後に、試験へのノート持ち込みについて。これも毎年いただく要望ですが、やはりお応えできません。古めかしいやり方ですが、ご理解下さい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

それほど予想から外れた結果ではありませんでしたが、ただ一点、先にも述べたように、講義内容そのものに関心をもってくれた人が少ない、というのは少々、意外でした。宗教に関わる話題は（たまに「ひく」人はいても）たいいてい「ウケ」はよいものなので、こちらに何か大きな不足があったのではないかと考えています。この点は十分に分析して、関心のもてる、楽しい講義にしていきたいと思います。



## 教員コメント

科目名 | 24012 | 法社会学

### ①自己評価

毎年のことであるが、この授業に関する自学自習時間について全くしていないと回答する学生が多数を占める。毎週多数の授業を受ける学生に対して、出席しているすべての授業の予習を要求することは現実的ではないと思うが、もう少し予習をする学生の数を増やすための工夫が必要であると考えているところである。その他、評定平均が4点を超えるものが意外と多く、ひと安心というのが正直なところではある。毎年の授業で、平易な講述は勿論、ノートが取りやすいまとまりのある板書を心がけているが、出席している学生諸君にもノートテーキングが何とか定着しているように思われる。

### ②評価に対する教員の思い

本学においては、6月に授業に対する中間的な意見聴取を目的として、「授業改善シート」を実施している。私もそのとおり実施したのであるが、本アンケートでは実施されなかったという回答が多く、驚いた。アンケートへの回答態度からも見られることではあるが、このような単位とは直接関係のない催しに対しても、集中して取り組んでいただきたい。ただ、毎年アンケートそのものに対して「煩雑である」「面倒くさい」という意見が寄せられており、アンケートの方式について工夫が必要であるということは、教員としても認識している。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

私の授業では、高校レベルの日本史の基礎知識や大学の一般教養レベルの法学の基礎知識を出席した学生諸君に口頭で確認し、必要に応じて板書しているのであるが、これをもう少し拡大し、小テスト形式で成績評価に組み込んで、予習を喚起するということがあり得る。ただし、これは「法社会学」の本来の授業内容とはかけ離れており、成績への組み込みに関しては慎重に考えている。また、この授業はビジュアルな資料を提示しつつ学生の理解を助けるということも考えられる。その意味で毎年パワーポイントほかの教材提示を考えているのであるが、アンケート結果を見る限り、そのような要望はあまりなさそうである。結局のところ、より平易な講述を心がけ、まとまった板書により理解を助けるという基本を追求しながら、他の方策を探りたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	24161	情報と法
-----	-------	------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 24050 | ビジネス情報入門

### ①自己評価

全体の印象 履修者数27名に対してアンケート回答者数21名と80%近くであり、きわめて高い参加率である。(本学の平均は不明であるが、次回から公表してほしい。これまでの私見では60%程度かそれ以下であった。) 評定平均4以上は17項目中3項目で、出席度合い、私語対策、授業改善シートの実施評定平均3以下は1項目で自学自習時間が極めて低い。評定平均3.5以上は9項目、3.5以下は4項目である。アンケートの結果では授業の理解度、ボリューム、難易度などは受講生の中で二極分化しており、以前からの課題である。今回は留学生が8名ほど受講しており、今後さらにきめの細かい対応が必要である。

### ②評価に対する教員の思い

履修者に対して授業の参加率はいつも70~80%と高く、講義をしていてもやりがいがある。毎回座席指定をしており、空席のところはいつも決まっている。特に留学生の出席率は高くほぼ100%である。この学生にわかりやすく試みたつもりであるが、アンケートではその関連性が不明のため、大学全体で再評価の機会がほしい。毎回授業の終了に当たって、授業の理解度を確かめるために課題を出している。学生はさらに理解を深めるべく、終了後に復習をするよう要請しているが、この授業に対する自学自習の時間は全くしていないか、30分程度であり、今後の課題である。参考までに前期の成績ではレポート試験であったが、受講生は全員合格であった。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

自己評価の5)に示したように、受講生は二極分化しており、グループ分けをするか、個別授業にするか対象を見極めながら、地道な対応が必要である。FD委員会で、二極分化の学生グループに対する具体的な事例、対応策等がありましたら、ご教示いただきたい。具体的方策後期には授業のはじめにアンケートを取り、受講生の学力や取り組む姿勢を把握し、授業の方法を基礎学力の確認とグレードアップ・応用の2段階ステップで対応していきたい。具体的方策を講じることによりどのように学生の習熟度を高められるか毎回の授業の終了時に、学生に授業のまとめを提出箱に提出させ、次回の授業で各人の習熟度を確認する。習熟度の不十分な学生に対しては再度提出させるなり模範解答で理解度を深めるように図る。

## 教員コメント

科目名 | 24052 | 経営情報システム論 I

## ①自己評価

この授業の通常出席している学生は63%程度とあまり多くはないが、おおむね固定化しています（今回のアンケートに回答した9割以上の学生は毎回または大体出席）。そのアンケート結果において、総合的には、非常に良いという評価も良くないという評価もそう多くはなく、ある程度よいという評価に過半数が集中しています。この傾向は、昨年度から続き、あまり印象的な授業ではないという評価の表れと考えられます。中でも、よくないという回答が多かったのが、自学自習の点（(4)エ85%以上）、シラバスの内容の点（(5)ウ28.6%、オ28.6%）、授業改善の点（(14)ウ14%、オ28.6%）です。これらの点から、授業には出席しているが、特に自学自習をすることもなく、受身で授業をうけており、授業改善も特にされているとは思っていない、もしくは関心がないと感じている学生がいることが分かります。ちなみに、授業改善シートを実施しましたが、50%の学生しか実施されたと答えていません。

## ②評価に対する教員の思い

アンケートの回収率（出席率の低さ）については、4時限目という時間帯につき、午前中に登校していても午後から帰ってしまっている学生が多いこと、教科書を使って授業を進めていたために教科書をいつまでも買わない学生は脱落していったことが原因していると考えます。この授業は昨年度から開講された授業であり、授業の構成、進め方、難易度などを昨年の反省を行い試行錯誤しながら授業を進めているのが現状です。昨年度に授業の難易度が高いという評価が多かったので、テキストとは別に資料を配布し基本的な内容を理解した上で本題に入っていけるようにし、授業の最後に小問題を配布して自らテキストやインターネットを使って深く調べていくことによって関心を高めようと試みたり、問題の難易度を変えてみたり、授業に対する意見や希望、再度説明してほしいところのアンケートを毎回とったりして、改善を試みましたが、その効果が出ずに、あまり改善されたと感じた学生は少なかったようです。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

今回のアンケート結果を分析し授業を振り返ることにより、少々の授業改善ではなかなか改善されたと学生は感じていないようですが、継続的に、学生の興味をひいて学習意欲を高めるための工夫を行うことが今後の最重要課題だと考えます。そのためにも、今後も以下の点に留意し工夫を行いたいと考えています。（1）具体的な目標設定：学生の興味ある事例を提示した具体的な目標設定を授業開始時におこない、学生の意識を授業に集中させてから講義に入っていくようにする。最初に問題（課題）を投げかけ、授業の最後にレポートを提出する方法をとるようにする。（2）体験型授業：講義形式の授業ではあるが、毎回のテーマに沿って学生が自ら調べたり考えたりしてまとめ、作り上げるような授業にする。講義はそのエッセンスを取り上げて説明し、学生が課題に取り組んでいる間にヒントを与え、考え方を説明する。（3）理解度の確認と意見の回収：レポートの他に理解度や感想、意見を書いてもらい、毎回の授業のチェックと今後への改善へとつなげる。

2009年度

## 教員コメント

科目名	24107	宅建関連科目
-----	-------	--------

### ①自己評価

平均的な評価に終わり安堵感と不満足感が交錯しています。やはり、授業の魅力を十分に伝えることができないまま、終了した感が毎年残ります。始業時点でもっとモチベーションを上げ授業の組み立てや出席の心がまえをとっておけばと反省しています。又途中の授業改善の取り組みも不十分なことが尾を引いているものと思われます。にもかかわらず、約3分の一の生徒がついてきてくれたことはうれしかったです。

### ②評価に対する教員の思い

もっと真摯に生徒の要望を受け、一方的な授業にならないように勤めようと思いました。私語対策や板書についても生徒の様子を見ながら進行しなければならないと思いました。ただ生徒に要望とするならば、受身ではなく積極的に授業に取り組み、教科書を購入し質問などをして欲しいと思います。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

生徒が少なくなった分、短に谷が取れるからという安易な動機から資格取得という目的意識を持った生徒が増えてきています。ぜひその要望にこたえられる授業を後期においても行う動機となりました。またプリント配布などの努力もしなければならぬことが分かりました。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 31005 | キャリアスキルアップ I

### ①自己評価

履修者数83名に対して、回答が49と、約60パーセントの学生からの回答であり、問題は、欠席をしていた、残り40パーセントの学生の不満を抽出することだと考えている。したがって、今回の評価が全てではないことを踏まえたうえで自己評価したい。まず、相対的に「4」の回答が目立ち、特に教員の意欲面や、授業準備状況、私語対策等の評価は高い。教員自身の熱意は伝わっていると考えられるものの、授業を受けて学生自身の学習意欲が刺激されるかという質問に対しては、さほど高い評価ではない。キャリアの講義は、知識の習得ではなく、人材を開発することが目的である。したがって、講義を通して受講者の意欲向上を目指すことが最も重要な事柄だと考えている。そのため、今後に向けてどのように動機づけをすることが必要かを再検討する必要性を感じた。

### ②評価に対する教員の思い

受講の理由が必須だからという回答が多く、当然ではあるが、有無を言わず受講を強いている状態である。このような状況で、受講に対する意欲に差がある学生を1つにまとめることに自分自身の力不足を実感している。自由記載で1名から授業内容に配する批判が得られた。当大学のキャリア教育のビジョンを再度学生に伝える必要があると再認識することができた。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

有意義な学びの環境を整えることが大学の義務であると考えられる。教員に求められる最低限の義務は、学生のレディネスの把握と、レディネスに応じた教育内容の検討及び提供である。しかし、当大学の学生の特殊性を踏まえたうえで、必須での一斉授業ではレディネスが統一しきれず、特にキャリア教育という体験を重んじた教育内容を、現在のスタイルで続けることには不都合が多い。そのため、今後に向けて学生の志向に応じた選択の幅を持たせるようなカリキュラムの修正と、授業スタイルの変更を検討したい。

## 教員コメント

科目名 | 32005 | 地球と環境

### ①自己評価

「自学自習」の時間に関する問4が評定平均2.73で最も悪い。半分は「全くしていない」と答えている。「小レポートの宿題」が唯一の自学自習であろう。この点はどの科目も、どの大学も似た傾向にあると思われる。短時間でできる「自学自習」のレポート提出の回数を増やし、成績評価点に加える割合を上げるのも一つの方法か。授業時間内に提出させる小レポートの場合は、出来次第自ら先生にもってきて内容を見てもらい、間違いなどを指摘してもらうなど皆積極的である。シラバスに関する問5は3.20で次に悪い。シラバスを読んでいない、というのが30%弱ある。導入教育などでもシラバスの重要性を強調するのですが、科目名だけで履修登録する学生が多い。授業中もたびたびシラバスを示しながら進めているが改善しない。「受身の学び」から「自分で掴み取る学び」へ、をどう実現するかが大きな課題である。学生のアンケートは出席している学生が回答するので問1の評点の数値は良い。しかし1/3程度しか出席しない学生、つまり中途半端な学生も多い。受けるならしっかり受ける、受けないなら最初から受けない、との癖をどうつけるかも大きな課題である。

### ②評価に対する教員の思い

一般的傾向として、学生がどの程度積極的に授業に向かったか、に関する 問の評点が悪い。経済的に困難でアルバイトに忙しい学生も多い。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

短時間でできる宿題をこまめに出すことにより自学自習の習慣をつける 試みを考えている。遅刻や欠席の学生が多い。つまり受講の姿勢が中途半端である。アルバイトで授業料等を稼いでいる学生も多く、夜はアルバイト、昼授業の学生も結構多い。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 32003 | 認知行動の心理学

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名	32018	東洋の歴史学
-----	-------	--------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 32004 | 生活の中の物理

### ①自己評価

授業のボリュームと難易度についてはほぼ適当であると思われるが、一方で、わからない点をそのままにしている受講者が多いことが気になる。何らかの形で受講者の理解度を確かめることも必要であると思われるが、物理の講義では説明すべき事項が多く、授業回数などの点からなかなか難しい面がある。

### ②評価に対する教員の思い

授業内容はほぼ理解されていると思われるが、一方で、欠席者がかなり多いことは、現代社会における物理の重要性の認識が足りないのではないかと感じる。これについては、シラバスの表現でもっと強調する必要があると思われる。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

毎回の授業の初めにその意義をできるだけいねいに説明する予定である。例えば、結論を始めに話す等のことを考えている。これにより、毎回の話の道筋がわかりやすくなるのではないかと考えている。

2009年度

## 教員コメント

科目名	32050	画像処理入門
-----	-------	--------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名	32007	コーチング論
-----	-------	--------

## ①自己評価

アンケートに回答した学生は、ほぼ全員が最初の授業時間（第1回）にオリエンテーションを聞いた学生であった。それらの学生は、ほぼ全授業時間（欠席数0か1回）参加し、遅刻はなかった。あらためて、第1回授業におけるオリエンテーションの重要性を認識した。オリエンテーションにおいては、特に次の三点に力を入れた。一つめは授業計画・内容の概要説明、二つめは欠席と遅刻に関する評価上の取り扱い、三つめは授業進行や他学生の学習権に支障が生じない授業にしていくために重要と思われる約束事・ルールへの提示である。実際、二つめと三つめに関わるような授業場面において、授業者が毅然と申し合わせたように対応することがポイントになるとみている。

## ②評価に対する教員の思い

想定外のマイナス評価はなかった。オリエンテーションで学生に提示した授業進行や他学生の学習権に支障が生じない授業にしていくために重要と思われる約束事・ルールの実行に努め、結果として、秩序ある授業が終始維持でき、「この授業を他学生に薦めたい」と評価する学生が約9割であったことから、授業を進めるに当たって必要な申し合わせであったとみている。今後に向けて学生への期待としては、授業に関して申し合わせた約束事・ルールの内容やその意味することを、学生一人ひとりが理解を深めて内在化させていき、日頃からTPO等に応じて適切に常識を判断し、それを実行できるようにしてほしい、ということがあげられる。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生が真面目に授業に参加する環境形成ができていくことから、毎時の授業内容の教材研究に努め、学生の習得度や理解度等の一層の向上に反映させていく。また、学生の期待・要望等の把握に努め、それに応えるようにして、学生の授業満足度が高まるようにしていく。そこで、毎時の授業においては、「わかってほしいこと、できてほしいこと、実行してほしいこと」などを明確に具体的に学生に示すようにする。そして、授業終盤では、小テストや小レポート等を毎時実施し、学生の習得度や理解度等を把握して、授業者の自己評価に生かし、授業改善につなげていくようにする。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 32002 | 日本語コミュニケーションⅡ

### ①自己評価

全体として、まずまずの評価が得られたと思います。まず、アンケート回答率が約65%ということで、少し残念でした。(1人の回答で約6%変動します) 全体評価と思われる設問17<薦めたい度>が「ぜひ」と「できるだけ」を合わせて88.2%ということで、当初の目標は達せられたと考えています。授業についての詳細として、設問6<分量>、設問7<難易度>を見ると、設問6が「適当である」64.7%、「やや多い」23.5%、「かなり多い」11.8%ということであり、設問7が「適当である」52.9%、「やや難しい」29.4%ということであり、それぞれほぼ当初の想定どおりの結果だと思えます。また、設問8<説明の分かりやすさ>では、「かなり分かりやすい」41.2%、「やや分かりやすい」58.8%という良い評価だと思っております。問題点と考えているのは、設問16<学習意欲の刺激>で、「ある程度」が58.8%に対して、「あまり」が23.5%、「全く」が5.9%もあったことです。

### ②評価に対する教員の思い

設問13<授業改善シートの実施>で、「実施された」31.3%、「実施されなかった」62.5%ということですが、実際は『実施』しました。数多くの科目で同時期に実施されており、混乱する面はあるでしょうが、もう少し制度面で学生の記憶に残るものする必要があると思いました。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

授業内容への評価としては、ほぼ想定通りだと思っています。設問20<工夫>では、「満足している」が82.4%ということですが、設問21<交流>において、「レポートによる感想」が38.5%もあったことに驚いています。この点については今後、改善すべく検討していきたいと思っております。

## 教員コメント

科目名 | 32012 | 英語コミュニケーション I

### ①自己評価

今回のアンケート項目のうち、授業の難易度と授業内容の分量について、適当と答えた人が約半分、残りの半分は授業が難しく、分量も多いと答えています。ただし多くの方がこちらの説明がだいたいわかると答えていますので、その点では現状どおりの授業内容を大きく変える必要はないと考えます。ただし、この授業で学習意欲を刺激されるかという項目では、あまり高い評価がなされていません。また自学自習をしている学生の数もあまり多くありません。特に英語が苦手な学生にたいし、英語への興味、関心を喚起し、もっと学習意欲を刺激するような授業にしていく必要性を感じました。

### ②評価に対する教員の思い

「英語」という授業科目は、大学に入って初めて勉強するその他多くの科目と違って、皆さんが既に中学、高校で6年間学んできた科目です。大学ではその既に学んできたことをベースにしてそれをさらに発展させるというのが授業の目標になります。ところが実際に入ってくる学生の英語力にはかなりの幅があって、よくできる学生から中学1,2年で習うようなこともわかっていない学生までいるのが現状です。授業は平均的な学生に合わせざるを得ませんが、可能な限り個々の学生の要望にも答えていきたいと思っていますので、授業中わからないことをそのままにしておかないでもっと積極的に質問をしてほしいと思います。またオフィスアワーに限らずいつでも気軽に研究室に訪ねてきてください。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

前期の授業では、まずその週のユニットで取り扱う内容をこちらが解説したあと、それに関する練習を一人一人順番に当てて口頭でおこなう、という形で進めてきましたが、後期はそれだけでなく、授業中に全員手を動かしてノートに書く、ということを時間の許す限り取り入れたいと思います。英語が苦手な学生でも、ひとつずつわかったという体験を通じて、英語に興味、関心をもてるようになることを期待しています。（留学生のクラスについては、前期の終りに授業で話した通りに後期の授業を行います。）

## 教員コメント

科目名	32013	中小企業論
-----	-------	-------

## ①自己評価

今回のアンケートの評価を踏まえて、反省すべき点は授業内での説明に関してもう少し多面的に行った方が学生さんの理解が得られたのではないかとことです。「具体例を一面から捉えている」という意見もいただきました。今後は改善できるように準備していきたいと思えます。ご意見ありがとうございました。しかしこのようなご意見をいただけるということは、しっかり授業の内容を聞いてもらっているということと理解いたしました。今後も遠慮なく気付いたことがあれば意見を聞かせてください。「授業内容のボリューム」については、「適当である」が69.6%、「やや多い」が30.7%ということでレベル的には「中程度」から、少し「上」を設定していたのでそのまま受け入れていただいたという結果が出たと思えます。授業内容は難易度とも関連するので難易度、ボリューム等を考えながら説明時間等の配分に配慮をしていきたいと思えます。授業の難易度に関してですが、「かなり難しい」21.7%、「やや難しい」26.1%となっておりこれらを合わせると47.8%の方が難しく感じておられ、「適当である」が47.85%となっており、「難しい」と思っておられる学生さんが「適当である」と思っておられる方と同じだけおられると言うことは、やはり設定レベルが少し高かった部分もあるのかなと反省しています。今後も授業毎に改善が必要な点を多くの学生さんに聞きながら改善策を模索していきます。

## ②評価に対する教員の思い

「説明の分かりやすさ」の質問に対して「かなり分かりやすい」65.2%、「やや分かりやすい」30.4%と応えてくれる学生さんにはこれまで同様なしこれまで以上に理解しやすい具体例を入れながら進めていきたいと思えます。いただいた評価を素直に受け止めさせていただきながらさらなる説明力の向上に努力します。しかし問題は「やや分かりにくい」4.3%という方への対応です。分かりやすい説明を心がけるのはもちろんのこと、授業のみならず個人的に質問をしていただけるように教室のみでなく学内のどこにいても声をかけていただけるように心がけます。「授業の準備」に関しては「かなりよく準備している」73.9%、「ある程度準備している」26.1%と評価してもらいましたが、今後もこのような評価をいただけるように最善を尽くして準備を行います。「授業に対する熱意や意欲」では、「かなり感じられる」73.9%、「ある程度感じられる」21.7%という評価をいただいておりますが、「あまり感じられない」が4.3%の方がいらっしゃいます。「あまり感じられない」という学生さんの意見に対し十分に反省し、少しでも感じいただけるように取り組みます。「この授業を他の学生にも薦めたい」という質問には「ぜひ薦めたい」が34.8%、「できるだけ薦めたい」が52.2%であり、もし薦めていただければ薦めていただいた学生さんの評価以上のものを提供できるように精進していきます。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

同じように授業をさせていただいても興味や関心を持ってもらえないようでは担当者として反省しなくてはならないと思えます。できるだけタイムリーな話題等を入れながら、かといって学問的なレベルを落とさずに説明させていただけるように常に心がけていきます。そして「わからない」と感じられている学生さんには何度も何度も説明させていただきますので遠慮なく申し付け下さい。担当させていただいた「中小企業論」の研究対象となっている「中小企業」は卒業後多くの学生さんが関わる、すなわち中小企業に就職するといったことが予想されますので少しでも就職活動に役立つような内容を扱っていきます。就職後「授業を聞いたときはわからなかったけど、西村はこういうことを説明したかったんやな」と思いだしてもらえそうな身近で役に立つようなことも取り入れていけるように勉強して参ります。毎回アンケートに同じようなことを書いてしまうのですが、せっかく大切な時間を割いて、高い授業料を支払って受けていただいている授業です。学生さんにとって役に立つ内容を提供していけるように取り組みます。担当科目につきましては、責任をもって対応いたしますので説明を聞いても理解できないことがあれば、遠慮なく言ってください。教員からの一方的な授業ではなく、教員－学生さんとの双方向型の授業心がけていきます。

2009年度

## 教員コメント

科目名	32014	経営戦略論
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名	33007	健康・体力科学論
-----	-------	----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	33050	メディア概論
-----	-------	--------

### ①自己評価

「学習意欲への刺激」や「他の学生に薦めたいか」などの設問で、少数ながら否定的回答があり、これらの項目での肯定的回答を増やす努力の必要を感じた。

### ②評価に対する教員の思い

自学自習を「全くしていない」という回答が半数あり、また60%が科目履修動機を「時間割上の都合から」と回答している。教員としては、自らの関心や意欲でこの科目を履修していない学生が多いことを示していると理解せざるを得ないのは残念であり、授業改善の必要を改めて考えている。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

より充実した授業のために、教室内での質疑や理解度確認を増やす。授業に使用する素材も現実社会と密接に関連するもの、学生の関心が高いものを選び、自らの意欲で履修を続けられるよう努める。それらを通じて、学生の社会に対する理解とメディアに対する「読み解き能力」向上を図る。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 33018 | ビジネス学特講 I (スポーツ経営学)

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名	33001	日本語コミュニケーションⅠ
-----	-------	---------------

## ①自己評価

第17設問の「この授業を他の学生にも薦めたいですか」に対して、「ぜひ薦めたい」が71.4%で「できるだけ薦めたい」の28.6%を加えると100%に達していることは、この授業が基本的に成功した根拠だと思われる。第7設問の「この授業の難易度は適当ですか」の回答で、「かなり難しい」と「やや難しい」の合計が71.5%に達しているのに対して、第8設問の「担当の先生の説明は分かりやすいですか」の回答で、「かなり分かりやすい」と「やや分かりやすい」の合計が100%に達していることは、難しい内容を分かりやすく説明するという私のモットーと合致する。評価が分かれる野球部クラスにおいて、第12設問の回答で「私語はなかった」が100%に達したことは、適切に教員側が対処すれば野球部ないしスポーツクラブ学生の学習意欲を刺激できることを示している。

## ②評価に対する教員の思い

「想定外のマイナスの評価」はなかったので、反論はない。第20設問の「この授業で工夫してもらいたいと思うもの」の回答で、「上手な板書」が50%に達していることから、少なくとも判読可能な板書を今後とも心がけていきたい。また、第19設問の「この授業でほしい設備」の回答で、「ビデオ・DVDなど視聴」が66.7%に達していることは大学当局に対して同設備の充実をのぞむところである。他方、学生諸君に対しては授業を原則的に欠席しないことをのぞみたい。野球部の公式試合のときの欠席は認めるが、野球部関連とはいえそれ以外の理由（自主練習等）の欠席は、今後他の授業を受講するさい致命的となる。たとえ本科目で合格点をとっても、今後の上級の授業は強いて言えば、TVの連続ドラマのように連続性があるから、1回でも欠席すれば全く分からなくなることを肝に銘じてほしい。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

2009年度

## 教員コメント

科目名	33002	日本語コミュニケーション I
-----	-------	----------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 33003 | 日本語コミュニケーション I

### ①自己評価

共通のテキストに沿っての授業であったが、なるべく例示を工夫したり、個々人の発言を引き出す努力を払った。全員がスピーチをおこない、各自がそれに対して評価をおこなうことだけは達成した。しかし、4つのスポーツクラブの学生集団の寄り合いクラスであるため、私語対策には苦勞した。結果として対策に成功したとは言えない。私語をしている学生たちにはそのつど注意したが、モグラたたきのような感じで、ここの私語がやめばあちらの私語が始まるような状態であった。罰を与えて態度を改めさせることは今後もしたくないなので、今後の対策を検討中である。

### ②評価に対する教員の思い

授業の難易度や説明のわかりやすさ、テキストやレジュメの有用度など、おおむね良い評価を得ている。とはいえ、日ごろの授業のときのやかましき、集中のなさからみて、これで自分の講義に満足しているわけにはいかない。本学での私の5年間の講義経験では、これほど人の話を聞かない学生たちに接するのは初めてであり、講義の内容や話し方にくわえてどのような方策をとるべきなのか同僚教員たちと検討してみるつもりである。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

講義内容、方法について工夫をくわえ、小テストや課題作業、などをふやし、授業への集中度を高める努力を続けたい。また、私語に対する基本的態度を授業冒頭に明確に示し、学生諸君の納得を得た上で、違反するものに対しては厳しい態度で臨むことにする。

2009年度

## 教員コメント

科目名	33004	日本語コミュニケーション I
-----	-------	----------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	33005	日本語(作文) I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名 | 33006 | 日本語(作文) I

### ①自己評価

講義の内容について今まで接したことがなく、講義中論理的内容について簡単に理解できるものが少ない。また、会話などと違い、文章を書かないと行けないので、ここでも語学力の差がみられる。系統的な学習し、プリントや補充資料なども配布し、講義を進めている。不明な点などについては質問があったり、宿題も真面目に書き直したりしているので、学習に対して意欲のあるクラスと判断できる。また、教室外にも交流が出来て、講義の改善にも役に立つと思う。講義の内容や難易度などについて満足が出来るので評価され、講義の内容や進み方に関しては適度であると自己評価する。

### ②評価に対する教員の思い

午後の講義であるため、遅刻などがよく見られる。また、ノートを取らなかった人もおり、まったく自学自習学生もおったので、これから宿題などを配布する工夫も必要だと思う。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

講義で工夫してほしい項目でビデオ・DVDなどの視聴教具の使用を指摘する学生が多いので、講義は学生の意見を取り入れて工夫したいと思う。また、個別的要素を考え、授業の改善を図りたいと思う。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 33104 | 経済データ解析

### ①自己評価

経済データ解析ではパソコンでExcelを用いた教材での授業を行っている。Excelの操作に興味を持っている受講者が多く、熱心に授業に取り組んでいた。授業の難易度はやや難しいと答えた受講者が一番多かったが、わからない点、疑問点については各自友達や講師に質問して解決しているようだ。しかし授業を受けて学習意欲が刺激されるかどうか、また教材が役立っているかどうかの質問に対しては受講者の中での意見が大きく分かれている。

### ②評価に対する教員の思い

受講者が授業に熱心に取り組んでいる様子が見えてくるものの、学習意欲の刺激となるまでには至らない受講者も多いことが気にかかっている。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

Excelでの演習が中心となっている授業であるが、今後は受講者が興味を持てるような話題や例示についても工夫したい。

## 教員コメント

科目名 | 34050 | 情報ネットワーク概論

## ①自己評価

民事訴訟法は、法学部学生にとっても難解で興味を持てる分野ではない。にもかかわらず、受講生にはビジネス学部の学生がおり、30回の講義であった。興味を持たせるだけでも極めて困難だった上、法学部の学生がいる限り、民事訴訟の必須の領域は講義せざるを得ない。工夫はしたが結果がでなかったようで、分かりにくいとか、ボリュームが多いという評価となったのであろう。この評価は、率直に受け止める。来年度は講義を辞退したいと思っているが、誰が講義を引き継ぐにしても、来年度も「民事訴訟法」の講義を設けるのなら、民事訴訟法Ⅰ、Ⅱと分けて、民事訴訟法Ⅰはビジネス学部の学生にも興味を持てるような民事訴訟法の概略及び基礎の講義（民事裁判実務といった趣のもの）とし、民事訴訟法Ⅱを法学部の学生用にある程度詳しいものにしてはどうであろうか。上記のような状況では工夫にも限度があるので、このような方法をとらない限り同様の評価しかなされない可能性が大きいと思われる。なお、ビジネス学部の学生が聴講していることもあって、テキストの購入を求めるのは酷だと思い、懇切なレジメを多数したつもりであるが、授業の終わりにぞろぞろと入室し、出席の確認あるいは講義が終了するやいなやレジメ受け取ることなくそのまま退室といった学生が少なくなかった（準備したレジメが多数余った）。にもかかわらず、講義について「あまり準備していない」とか「まったく準備していない」といった学生の評価はまったく理解に苦しむ。

## ②評価に対する教員の思い

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

2009年度

## 教員コメント

科目名	34010	民事訴訟法
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 34101 | 都市経済論

### ①自己評価

受講生がきわめてすくなく、アンケートの回答数も少数だったので、あまり断定的なことは言えないが、出席者の授業中の態度から推察すると、興味を持って授業に臨んでいたと思う。（私語やいねむりがすくなくかった。）少人数であるため、授業中よく個別に教員のほうから質問、問いかけをおこなった。これに対して、学生は考えて答えてくれた。

### ②評価に対する教員の思い

経済学部科目であり、事実上4回生しか受けることのできない科目だった。このため、履修者が極めて少なく、出席率もよくなかったので授業はいつも少人数だったことは全く残念であった。説明の理解度、内容ボリュームなどについてほぼ妥当な評価を受けたと考える。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生の評価がおおむね肯定的なものなので（授業中の反応を含む）、授業の内容については大きく変えない予定である。これまで要点のレジュメを配布していたが今後は関連資料のコピーや写真なども提供したい。また、板書が早すぎる、字が読みにくいといわれており、ゆっくり書くことでよみやすい板書にしたい。あわせて学生のペースを把握しながら授業をすすめるようにしたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	41050	情報学概論
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 41004 | 計量経済学

### ①自己評価

今年度は、学習管理システムを利用した授業を行っている。受講生が、出席状況や課題への取り組み状況をリアルタイムで確認できることから、30回の講義を漫然と受講するのではなく、自身の学習状況を把握したうえで授業に臨むことができたのではないかと考える。特に後半は、当該時点における暫定成績を表示することによって、未提出のまま放置していた課題にきちんと取り組む学生がみられた。ただ、課題そのものは授業にきちんと出席していなければ理解できない内容のものであったことから、そうした学生に対する補習に時間がとられてしまった面があり、今後は、欠席した学生に対するフォローが課題だと考える。

### ②評価に対する教員の思い

各単元の説明を行った後、普段から使用している表計算ソフトを利用して、学習管理システム上に準備した演習課題に取り組むスタイルで行った。入力した解答の正誤が即時に分かるので、正解にたどり着くまで粘り強く取り組む姿勢が見られた。ただ、授業内容自体は難しいと感じている学生が多いことから、授業前半の解説に今少し、わかりやすい工夫を加える必要があると考える。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

今後も学習管理システムをつかった授業を出来る限り、続けたいと考えている。今年度は初めての取り組みということもあり、うまく機能せず、急ぎで教材を変更するなどのトラブルもあった。この点、経験を重ねて、少しずつ改善していきたい。また授業内容の理解度をこまめに確認して、進度を調整する工夫も行っていきたい。

## 教員コメント

科目名 | 41001 | 統計学入門

## ①自己評価

設問1～4はアンケートを受けている学生本人に関するものであるが、とくに、設問4の全体平均が3.0を下回っている（自習時間が30分未満の学生が多い）のが気にかかる。設問6、7の分量・難易度に関して上回っているのは、この科目を難しく、また、量が多いと感じている受講生が多いことを示している。設問8から設問12までがほぼ全体平均を下回っていて、特に、設問12の私語対策が平均よりだいぶ悪くなっている。設問13、14の授業改善シートに関しては、実施し、結果の説明も行っている。その時の出席者はほぼ80名程度だったが、多くの受講生は忘れていたようだ。授業改善シートの結果も含め、受講生の要望にはなるべく応えるようにしていたつもりだが、設問15の結果をみると不十分と感じている学生も多数いたようだ。設問16、17をみると、学習意欲はそれなりに刺激されたが、あまり他者に勧めたい科目とは思ってもらえていないようである。設問18～21では、視聴覚機器やITの活用を望んでいる受講生が多いことが分かる。また、教室外での対話を望んでいる学生も多にいる。

## ②評価に対する教員の思い

まず、改善すべきと考えているところであるが、視聴覚機器（とくにパソコン）の利用を求める声が授業改善シートでもあったのだが、受講者が多数いたことから対応できなかったのは、残念であった。また、研究室の場所の問題もあるかもしれないが、教室外での対話を求める学生（とくに、オフィスアワーを除く時間）に応えられていないようなので、方法を考えていきたい。私語対策については、なるべく静穏な環境を維持しようとしたのではあるが、十分であったとは言い難かった。受講生の方に求めたいこととしては、もっと自学自習をしてほしいということである。とくに、自学自習が30分未満で分量が多い・難しいと答えている人は、自分の努力が足りないと思ってほしい。設問13、14に関して、設問14は設問13でと答えた人のみ（29人）のはずなのに、56人も回答している。アンケートの時間は30分と十分な時間をとっているはずなので、もう少しせつもん分をしっかりと読んでアンケートに答えていただくとありがたい。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

後期の経済統計入門では、インターネットを通じて経済データを収集する内容となっている。したがって、科目履修者数や他の科目とのバッティング状況にもよるが、4～5回くらいは通常の教室ではなく、少なくとも教員用のパソコンのある教室に移って、実際にどのようなサイトがあるのかを見ていくようにしたい。受講生の要望を聞くことも含め、コミュニケーションを図っていく。そのための方策として、毎回配布・回収している出席カードの活用や、授業改善シート以外にアンケートをとったりなどをしていく。私語をしている受講生を厳しく叱るなど私語対策をきっちりしていく。



## 教員コメント

科目名	42003	中国語入門
-----	-------	-------

### ①自己評価

今回の設問において、教員への「評価」を示すのは、5番～11番と15～17番、20番である。私に対するこれらの評価がかなり高い。これは、私からしてみれば、「目の前の学生に応じて講義を行う姿勢を貫くのを信条としている」ので、当然の評価であって驚かないが、逆に、学生自身がよく「判定」をしたなという気が強い。つまり、学生自身の観察力、判断力も問われているのであるから。

### ②評価に対する教員の思い

教室内では、学生の慢性的な「復習不足」のため、進歩が極めて緩やかである（一部のよく復習する学生を除いては）。しかし、評価に対する不満は無い。「プリント配布」を敢えてしないのは、テキストだけで教材として十分な質・量があるからである。なお、今後、学生諸君の「消化具合」を見計らって必要と感ずればプリント配布も行うようにする。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

私は、なるべく学生に語りかけ、コミュニケーションを図るよう心がけている。「まったく学習意欲がなく、時間が空いていたから履修しただけ」の学生も多い。そういう学生には、日常生活のこと、ボランティア活動のこと、クラブ活動のこと、ティーチング・アシスタント、インターンシップのことなどをも含めて話しかけるようにしている。改善すべき点を強いて挙げれば、私自身の経験を合間に語るが多い（例えば、高校野球甲子園ベスト4、サッカー、剣道、スピーチコンテスト、料理、各種講演、鍾乳洞、海外旅行、インターンシップ、劇団指導、能力開発、企業講習、古代インド哲学など）ので、もう少し「紋切り型」のような講義にするべきかとも思う。しかし、そうすれば、本学学生の場合、必ず「飽きる！」。

## 教員コメント

科目名 | 42006 | 教職概論

## ①自己評価

全体平均に対して、互いに関連し合っていると思われる三項目「授業内容のボリューム」「授業の難易度」「説明の分かりやすさ」が下回っていた。つまり、授業内容のボリュームが多く、授業が難しく、説明が分かりにくいと感じる受講者が一定数存在するということである。他方、「レジュメなどの教材が授業の理解に役立っている」「教員の授業に対する準備」に関しては全体平均を上回っている。このことからすると、授業の準備よりも講義室での授業そのもの考えるべき点があるということだと思われる。

## ②評価に対する教員の思い

ほぼ毎時間出席している受講者は10名である。そして「授業改善シート」の実施に関して、「実施された」30%（3名）、「実施されなかった」40%（4名）、その他20%（2名）という回答が示されている。しかし、「授業改善シート」に対する回答者は全部で10名であった。これは、「授業改善シート」に回答しながらそれを忘れてしまった受講生がかなりの割合を占めることを意味している。「授業改善シート」の実施を忘れてしまっていること自体が大きな問題だとは思わないが、学生諸君はもう少しいろいろな面で注意深くあってほしい（他の者が話したことはもう少し注意深く聞く、など）という思いを強くする。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

「授業内容のボリューム」が「やや多い」と「適当である」・「やや少ない」がちょうど半分ずつである。受講生の半分が「やや多い」と感じているとすれば、単純に内容を減らすということには問題があるが、受講生諸君が内容を多いと感じないような工夫が必要であろう。また「授業の難易度」について、「かなり難しい」と「やや難しい」が40%、「適当である」が60%である。これは「説明が分かりやすい」に関して、「かなり分かりやすい」と「やや分かりやすい」が60%、「やや分かりにくい」が40%であるのと関係しているであろう。説明の分かりやすさに関しての工夫が必要であるが、それと共に前期は1回しかできなかった「小テスト」を増やし、それによって受講生の理解度を確かめながら授業をすすめるようにしたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名	42162	民法
-----	-------	----

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 42051 | 映像メディア論

### ①自己評価

特にこの結果に意見はない。自分なりに、分かりやすい結果だと思っている。ひとつ説明しておく、この授業は、新しい知識や技術（技法）をひとつずつ教えてもらい、ステップアップしていくという形式でも内容でもない。教科書やマニュアルはない。毎回ひとつのテーマから、現代を生きていく人間として自分の回りの社会の一面を知り、その事について時には考える、そんなキッカケを作るのが目的である。まず、内容の理解を得るため、ボリューム、難易度、説明は、学生諸氏が分かってもらうことが最低条件。（本当はどこまで理解できているのか分からないが・・・試験のきっかけは、アンケート結果とリンクしていない）そこから、どこまで彼らの興味を引き、積極的に発想し考えてくれるかとなる。教え方としては、自分でも、学生諸氏とのやりとりやコミュニケーションをもっとやっていきたいとは思っている。

### ②評価に対する教員の思い

特にない。学生諸氏の素直な（こういうアンケートに対しての）評価だと思う。ただ、例えば、21の設問「この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか」は〈教室外での対話〉と書いた学生が多かった。しかし、授業中、質問もなく、尋ねたことに対してアクションも殆んどなく、常に授業の最後に、映像を見たいでも、何でも、聞きたいことあったら研究室において、といっているが誰も来ていないのが実情だ。それと、自由記述欄にもっと書き込んでほしい。この選択肢では表現できないもの、具体的なことなどを。

### ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

授業の内容にもよるが、意見交換や、レポート等（これまでも時折行っているが）の場をもう少し広げてみてもいいかと思っている。学生諸氏に、受身でない状況を設定することでもあるが、考え中。

## 教員コメント

科目名 | 42016 | 経営倫理学

## ①自己評価

アンケート実施対象の受講生が少数であるために、ネガティブな評価に注目して前期の講義を振り返ることとする。他の授業を参観したが、その場合、気になったのは「私語の多さ」であった。幸い私の授業では全体としてそのタイプの学生がいなかったが、後方に座っていた3人組が時折喋っていた。それに対する私の対応策は、彼らに質問することであった。声が大きくなったと感じたときにはその都度私の方から質問を浴びせた。その場合、彼らは自分で考えそれなりの回答をくれそれ以降の時間はおしゃべりが減ったと思っている。この措置は、自分では、一応「成功」したと考えていたが、「私語対策」をしない、との回答が50%あり、私の意図が学生たちに伝わっていないことが分かった。反省している。講義は担当者が作成したレジュメを使って行ってきたので、そのレジュメが役立っていない、と評価された(50%)ことを非常に厳しく受け止めている。

## ②評価に対する教員の思い

授業の難易度を尋ねる項目では、67%弱が「適当である」と答えているのに、わかりやすさを尋ねる項目では50%が「ややわかりにくい」と答えており、このギャップの意味が担当者には理解できない。講義を理解できた日とできなかった日があった、ということであろうか。そうであれば、それは当然であり、講義のはじめの日に、自分の経験を含めて、学生の段階で、大学の授業の内容をすべて理解することはできないこと、一回の授業の中に、自分に納得できること、逆に、納得できないことが分かれば、それで充分であり、その疑問を大事にするように伝えたが、そのことを毎回の授業で説明する必要がある。と同時に、ここにはカリキュラム上の問題があるように思われる。学生は授業を体系的に選択して履修していないのではないのか。相互に関連のない科目をバラバラに履修しているとすれば、それは双方にとって極めて非効率的である。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

この科目は前期開講の科目であること、後期は、担当科目も受講する学生の年次も違ってくることを前提にして、幾つかのことを考えている。第1に、「授業で欲しい」設備として、DVD等の視覚に訴える授業方法を望んでいる学生がいるという事実である。これへの対応は、教育効果の点で、極めて微妙な問題をはらんでいる。というのは、過去数年間(5~6年ほど前に)、30回すべての講義をインターネットを使ってしたことがあり、そこから私なりの教訓を学んだからである。講義では、ウェブで事例を確認し、それを説明する、という様式を取った。学生はリアルタイムで「なにが、どのように、問題になっているのか」を視覚で学べるので、その時(授業中)は関心が高く、おもしろく分かりやすいと評判であったが、最後に、テストをすると、ほとんど覚えていなかった。その時に、地道でも、板書を自分の手で書くことによってはじめて覚えるものであることを痛感した。但し、授業への「まくら」しての価値はあるので、検討してみたい。第2に、教員との交流手段として、レポートによる感想等を望んでいる学生がいるという事実である。これには前向きに取り組み、小テストを実施するなど、後期で実践する。

## 教員コメント

科目名	42014	環境経済学
-----	-------	-------

## ①自己評価

設問6「この授業内容のボリューム（分量）は適当ですか」で「かなり多い」＋「やや多い」が60%、設問7「この授業の難易度は適当ですか」で「かなり難しい」＋「やや難しい」が60%とあることから、分量・難易度が高めであるようです。設問10「担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われますか」で「かなりよく準備」＋「ある程度準備」が80%、設問11「先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか」で「かなり」＋「ある程度」が100%とあることから、熱意・意欲は評価を受けているようです。設問20「あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うもの」で挙げられたのは「上手な板書」が40%、「この中にはない」が20%でした。「この中にはない」の具体的内容が気になりますが、授業改善シートでは「印刷教材の配布」と「視聴覚機器の効果的活用」が挙げられていましたのでそのことかも知れません。

## ②評価に対する教員の思い

上記のとおり分量・難易度が高めとのことですが、設問4「あなたは、この授業に関する自学自習を毎回どれくらいの時間していますか」で「全くしていない」が80%でした。そもそも文部科学省の大学設置基準によると、授業時間の2倍の時間の自学自習が基本です。一方、小テストや期末試験の結果からは、授業内容はおおむね理解されているようです。自学自習を全くしていないにも関わらず授業についていけている以上、客観的にはこの授業の分量・難易度はむしろ低めであるとすら言えます。設問8「担当の先生の説明は分かりやすいですか」、設問16「この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか」、設問17「あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか」で回答が分かれました。設問18「この授業を履修した動機」で「時間割上の都合から」が40%でしたが、やはり興味・関心を持った上で履修していただきたいと思えます。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

上記のとおり分量・難易度については特に減らす必要性は感じません。むしろ、いかに自学自習時間を増やしてもらうかが課題でしょう。しかしながら、意図的に授業内容を分かりにくくして自学自習に誘導するのは得策とは言えません。授業は授業で分かりやすいものとした上で、一方でそれでも分からない学生向けに自学自習の具体的方策を教示するとともに、他方で学生の学習意欲を刺激することにより発展的課題にも取り組ませるのが理想でしょう。板書については、字が下手なことは自覚しておりますので、せめて丁寧な字を心掛けたいと思えます。印刷教材の配布については、授業改善シートへのフィードバックの際にも説明しましたが、情報センターの「教材」機能への理解を引き続き求めていきたいと思えます。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 42001 | 政治学入門

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	42002	政治学入門
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名	42013	ITリテラシー I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 42023 | キャリアスキルアップⅢ

## ①自己評価

キャリアスキルアップⅢは大学生の就職というテーマであったこともあり、「能動的な学生」と「そうでない学生」がはっきり分かれていたと思います。この授業をつとめるにあたって「基本的な就職活動の知識」に加え「社会で生きていける力を養う」事を個人的目標にしておりましたが、全ての受講者をそのようにすることは出来ていないと考えております。「能動的な学生」に関してはより深く自分と世の中の事を考えてもらうことはできたと思います。一つの課題をクリアしたら次の課題へ・・・という流れで非常に受講者の成長を感じることができました。事実、授業中では書けなかった“自己PR”なども期末のレポートでは格段にブラッシュアップされた学生も多数おりました。これは受講者本人の就職に対する意識や意欲にそのまま比例していたように見受けられます。一方「そうでない学生」は多くの場合「最初から授業を聴く意識が無い、出席しているだけの学生」だったと思います。これらに関しては最初から「授業に参加する気がないなら別段来なくてもいいよ」というスタンスを取っており、強制性を省いたつもりでしたが、それが逆に「突き放し」と感じられたのかもしれませんが。そういった学生は授業中での課題に取り組んでおらず、彼らのやる気を喚起できなかったところに責任を感じております。ただ、そのように参加していないように見える学生も「雑談や個別での対話」では比較的積極的に自分の意見をいつてくれるなどの傾向は見られましたので、出来るだけ関わっていくように心がけ、その結果“実は結構悩んでいる”や“共通の話題（就職活動時の選考やインターンシップについて等）”に関して対話をすることもできました。教材に関しては多くの方が教科書を購入していなかったため、都度テーマごとのサブテキストを作成→プリント配布にしておりましたが、その結果教科書購入者に不公平感がでてしまったかもしれませ

## ②評価に対する教員の思い

個人的な所感として、1時限目の受講学生は比較的能動的で、授業を行う側としても積極的に受講者に関り、自らの気持ちも盛り上げて授業に挑めておりましたが、2時限目はそのような状況ではありませんでした。事実、1時限目は前から席が埋まっていくのに対し、2時限目は前は空きがあり、後ろの方から席が埋まっていくという状態で、授業を行う側のモチベーションも若干変動しておりました。私のそのような姿勢を敏感に感じる受講学生も存在したと思います。教員の態度や思いは学生にそのまま伝わってしまうと思いますので、今後は学生がどのような初期態度であろうと能動的に取り組むよう心がけます。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

後期からは大きく2つのテーマを持って挑みます。①後期以降は授業の雰囲気創造を目標にする。具体的には「自ら考える雰囲気」「間違ってもいいので自らの意見を言える雰囲気」「能動的に参加する雰囲気」の3つです。このことにより社会で必要な「情報編集能力」を身につけていただくことです。②学生との摩擦を避けない前期もそうでしたが、授業中の態度、例えば私語や携帯メールの使用など、「社会に出たときに習慣化してしまっていてはいけない態度」に関して厳しく接してきました。その結果一部の学生と衝突することもありましたが、後期はその摩擦を恐れず、一層厳しく接しようと思います。その他、座る席の位置や課題に対しての取り組み方なども厳しくすることで学習習熟度を強制的にでも向上させることを考えております。

2009年度

## 教員コメント

科目名	42105	経済思想史
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 42106 | 会計学 I

### ①自己評価

受講者の内、アンケートに答えた人が5分の1であり、また、また、アンケートに答えてくれた学生も時間割の都合から受講した人が多く、また、前もってプリントを配布していたが、全員が自習をしていなかった。講義の内容をプリントにして配布してあったが、出席者が常に変化するために、継続して講義することは困難であった。常に、前時間の講義内容を繰り返して講義することになり、なかなか思ったように進むことが出来なかったと言える。これらから講義の内容が難しいとの評価も理解できるが、この講義を他の学生に薦めたいが3分の2もあったことも驚きである。

### ②評価に対する教員の思い

学生の評価に対しては、特にないが、出席を継続して欲しい。講義に出る学生が日替わりで異なり、最終的には、講義や試験に出ない学生が出たりしたことである。これは多分4年次であるので、他で単位が取れる見込みがでたので私の科目を放棄したと思われる。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

板書については、学生の書いているとおりであり、後期からもう少し注意して書きたいと考えている。ただ先に配布しているプリントの中の文章を念のために重要なところを写して書いているだけであり、プリントの文章を読めば板書が全く同じであることが理解できると思うが、このことについては、後期の講義で再度説明したいと思っている。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 43012 | 財務諸表論

### ①自己評価

受講生の出席は比較的良いと思われる。いろいろ講義内容を考え、理解されるよう、毎回毎回、講義内容と説明方法を研究し、理解されるよう努力した。特に、授業においては、板書や補助プリントを配布し講義を行っているため、それなりに理解されたようである。今回はスポーツ系の学生が多かったため、スポーツ用品会社の例を使って講義を進めた。また、「ビジネス会計検定試験」を意識し、比較的緩やかに講義を進めた。レベルは受講生の要望を聞きながら、内容を易しくなるよう考えた。今後とも、資格試験の内容と、受講生の受講動機や積極性から理解度を検討する必要がある。いずれにしても、今後とも受講者の要望を聴取し、それに合わすべきであれば合わす予定である。

### ②評価に対する教員の思い

多様化する学生に対応するために、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。毎回それなりの評価を得る努力は必要である。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

一般に大学での財務諸表論は会計学との重複する領域もあり、「ビジネス会計検定試験」や「簿記検定試験」の範囲を基準に、実務で使用される用語や方法を講義することになっている。内容をやや易しく、レベルを下げることも試行してみたい。各種検定試験の内容を希望する受講生もおり、受講生も頑張って検定試験のレベルの授業についてきてもらいたいものである。ただし、勉強意欲のある受講生の要望を聞きながら、内容や講義方法をいろいろ考える予定である。

## 教員コメント

科目名 | 43006 | 健康スポーツ演習

## ①自己評価

まずアンケート回収率が低いことを反省しています。30人の受講生の内8人が欠席をしていて回答しておりません。そのうち途中で履修を止めた学生が複数いたことが残念です。欠席が多く、たまに出席をしても私語が多く、態度が悪いためある学生に再三注意をしました。態度を改め授業妨害なく講義を受ける決意が出来るまで出席停止を言い渡しました。その後、残念ながら出席をしなくなりました。真面目に受講している学生の学習環境を守るために本気で注意をしました。多くの真面目な学生は、教員の対応を支持してくれたと思っています。質問の12項目で9割の学生が私語対策をしたと回答しています。運動部の学生が遠征合宿に参加したためアンケートの当日欠席していました。最終レポートの提出数から考えると、実質履修放棄した学生は、3名前後と理解しています。テーマである「歩行運動」と「有酸素運動」を自分のものと捉え、多くの量の課題提出を求めたにも拘わらず、熱心に取り組んだ受講生が多かったと思います。

## ②評価に対する教員の思い

質問4の「自学自習」にかんする回答はレポート作成にまだ取り組んでいない段階のアンケートのため短い時間と回答しています。しかし実際には、毎時間の体脂肪変化データ整理や、少なくとも一週間の万歩計によるデータの整理など、レポート課題の分析考察にかなりの時間をかけたと思われる力作レポートが多くありました。質問6・7に関して。昨年より「授業内容の分量」は少し少なくし、「難易度」を下げる為に解説・説明の時間を多くとったつもりであった。しかし、約3割の学生が分量多く、難易度が高いと感じているとのこと。まだ工夫の余地があると感じています。自由課題の取り組みの熱心さに個人差が大きくそのまま評価につながっていると思われる。課題を自分の体験からオリジナルデータを取り、オリジナルの視点からのレポートを期待していました。「自由記述」に関して、ビデオの感想文は評価の対象か？何を基準に評価するのか？との質問がありました。ビデオを見ての感想文は、評価の採点には入れておりませんでした。重要なことを箇条書きでも良いから、しっかり考えながら内容を選択しメモをすることの大切さを学習させたかったのです。他の受講生でしっかりノートをしている仲間がいることを知らせたかったのです。その手段としてグループ内で互いに採点する体験をしてもらいました。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

前期は、ノートをとることより、自分の頭で考えることのほうが大切であると強調しすぎまし。重要な事を取捨選択しノートを要領よくまとめる事も大切であると言う立場でノートに記述させる時間の配分を考えた授業展開を後期にはしたい。レポート作成におけるルール・マナーをしっかり教えたい。インターネットや著書の引用部分と、レポート作成者自身の考えの部分を明確に分けて書かせたい。レポート作成者のオリジナルな視点とオリジナルな考察のレポートをしっかり評価したい。毎時間、真面目の課題に取り組む力を付けた受講生が良い評価を得られるような評価システムを考えて後期の授業に臨みたい。さらに、パワーポイントやDVDなど視覚的に理解できるよう教材を工夫したい。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 43001 | 日本語コミュニケーションⅡ

### ①自己評価

全体として、まずまずの評価が得られたと思います。まず、アンケート回答率が約65%ということで、少し残念でした。(1人の回答で約6%変動します) 全体評価と思われる設問17<薦めたい度>が「ぜひ」と「できるだけ」を合わせて66.7%ということで、少し評価が低いと考えています。授業についての詳細として、設問6<分量>、設問7<難易度>を見ると、設問6が「適当である」50.0%、「やや多い」31.3%、「かなり多い」18.8%ということであり、設問7が「適当である」37.5%、「やや難しい」50.0%ということであり、それぞれほぼ当初の想定どおりの結果だと思えます。また、設問8<説明の分かりやすさ>では、「かなり分かりやすい」31.3%、「やや分かりやすい」43.8%、設問16<学習意欲の刺激>では、「かなり」31.3%、「ある程度」56.3%とまずまずの評価だと思っております。問題点と考えているのは、設問17<薦めたい度>が少し低かった点だと思えます。

### ②評価に対する教員の思い

設問13<授業改善シートの実施>で、「実施された」31.3%、「実施されなかった」43.8%ということですが、実際は『実施』しました。数多くの科目で同時期に実施されており、混乱する面はあるでしょうが、もう少し制度面で学生の記憶に残るものする必要があると思いました。設問19<欲しい設備>において、「カラープリンター」33.3%などの結果は、この授業とどのように関係しているのか理解できない回答結果であり、アンケートへの回答姿勢を疑うような結果だと感じます。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

授業内容への評価としては、ほぼ想定通りだと思っております。設問20<工夫>では、「話題や例示の妥当性」が33.3%、「上手な板書」26.7%ということで、この点については今後、改善すべく検討していきたいと思っております。

2009年度

## 教員コメント

科目名	43002	日本語コミュニケーションⅡ
-----	-------	---------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名	43003	英語コミュニケーション I
-----	-------	---------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名	43005	インターネット英語 I
-----	-------	-------------

### ①自己評価

授業内容のボリュームに関しては、多めという意見が半分強、適当という意見も少なくはなく、少ないという意見はさすがに1名だけであった。難易度に関しては、個々の学生の英語の習熟度によるであろうが、極端な意見は少なく、適当であるという意見がやや難しいという意見をやや上回る程度であった。分かりやすさに関してもほぼこれに近い割合であったようだが、分かりにくいと直接訴えている学生もいたのはやはり不本意な結果と言うべきであろう。また大きな字で丁寧に板書することは常に心がけているつもりであったが、この授業で工夫してもらいたいものとしては、上手な板書という意見が2割ほどであるが見られたのは、引き続き大きな課題であろう。

### ②評価に対する教員の思い

授業を受けるに際して、配布し毎回使用しているプリントは毎回持参してきてほしいものである。そして不平を言う前に毎回きちんとノートを取る習慣を自ら徹底してほしい。私が授業でくだらないどうでもいいことを何回も言っているとの指摘があったが、授業があまり早く進み過ぎないように、そしてあまり窮屈で単調にならないように、授業で購読している内容に関連した余談めいたことを多少息抜きの脱線気味に話していたことがあったが、それがかえって当人にとって迷惑になっていたのであれば考え直すべきであろう。文面やその他の状況から見て、某君からの指摘であろうことは容易に察しがつく。しかし確かに指摘されたような点で迷惑をかけてしまっていたことがあったにせよ、こんなレベルの批判文を長々と書く熱意があるぐらいなら、むしろその熱意をもう少しましな答案が書けるようになることに振り向けて欲しいものである。また同じくこの某君から、英語の時間なのに中国語を使ってしゃべっていることがある理由が分からないという指摘があったが、これは中国人留学生が少なからず受講していたので、彼らにとって英単語の意味を日本語で聞くよりもより理解しやすいようにと思っ時折そうしていたわけであるが、これがもし不必要な余計な行為であり、ましてや中国人留学生がみな日本語での説明を完璧に理解してくれているならば、受講生全員のためにもむしろこれはやめたほうが良いだろう。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

毎回の授業のボリュームに関しては、少なくともこれ以上多くならないように心がけることが必要だと感じた。難易度についても、これ以上難しくならないよう心がけるか、あるいはもっと分かりやすい説明をして難易度の壁を乗り越えていくほかはないだろう。前年度とは難易度も内容もよく似た教材で授業をしたつもりであったが、前年度に見られた「面白い内容の英語だった」「説明がとても丁寧で分かりやすかった」というような指摘とは違い、辛口の指摘が目立っていたように思える。この科目名はインターネット英語であるが、実は私自身ITにはうとく、平成19年度に学部もカリキュラムも変わり、今までとは勝手の違うこの科目を担当すると決まった時はかなり戸惑いを感じたが、インターネットの一端としてEメールの英文の書き方と読み方を扱った教材がいくつか出版されていることが分かり、その中から本学の学生にとって必ずしも難しすぎないものをベースにした教材を自分なりに編集したもので授業をする決心をした次第である。しかし一部の学生から指摘があったように、これはパソコンなどITを使った授業ではないので普通の英語の授業と変わらないではないかとの指摘を今年度初めて受けたのだが、履修の手引きの中で、文法に重点を置き、ネット上で簡単なやり取りができる英語の基礎学力をつける内容だと前もって断っていたはずであり、私としてはシラバスをきちんと読んで納得した上で受講するかどうか考えてもらいたかったと思うのだが、この点がどうもはっきりと伝わっていなかったのだろうか。ところで本学の学生の多くに大きく欠けているのは単語、熟語、文法も含め英語の基礎学力であり、それなくしてITも何もあったものではないと私自身考えている。ITに重点を置いた授業なら他の科目にもあるだろう。

## 教員コメント

科目名	43101	経済数学
-----	-------	------

## ①自己評価

科目「経済数学」の本来の目的は、経済学（マクロ経済学、ミクロ経済学、財政学、軽量経済学など）の学習課程で必要となる数学の知識（線形代数学、微分・積分学、代数方程式、微分方程式、数列、級数、漸化式、動的最適化など）の理解と、数式運用の手法を習得することであるが、受講者が4回生以上の学生であり、上記の数学の知識を学習する必然性がないと考えられるので、第1回目の授業時に学生と相談して、次のような授業内容に変更した。ひとつは、卒業後に社会人として新聞の経済面を読むことができるようになることを念頭において、マクロ経済学の基礎知識を復習すること。ふたつには、経済変量の基本的な統計結果を読み取ることができるようになることを念頭において、経済統計の基礎知識を復習すること。以上と同時に、そこで使われるベーシックな数理的な内容（割合、増加率、寄与率、1次関数など）を復習すること。毎回3～5名の受講者に対して、各回の单元ごとにプリントを作成しておいて、短答式の設定の回答してもらいながら、対話的に授業を展開できた。その結果は次のようにアンケート結果に反映されていると思われる。説明の分かりやすさ（問8）においては、「かなり分かりやすい」50%、「やや分かりやすい」50%となっている。教材が授業の理解に役立っているか（問9）においては、「かなり役立っている」50%、「ある程度役立っている」50%となっている。学習意欲は刺激されるか（問16）においては、「かなり刺激される」50%、「ある程度刺激される」50%となっている。アンケートの調査数が少ないので、統計的にどれほどの意味があるかは不明であろうが、少なくとも毎回、一人ひとりに発言の機会があり、学習内容についての質問の適宜するようになっていたので、双方向の授業が展開できたと考えている。

## ②評価に対する教員の思い

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

2009年度

## 教員コメント

科目名	44021	ミクロ経済学
-----	-------	--------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	44014	日本経済論
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	44001	英語コミュニケーション I
-----	-------	---------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 44002 | ITリテラシー I

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	44003	英語コミュニケーション I
-----	-------	---------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--



2009年度

## 教員コメント

科目名	44054	3次元CG
-----	-------	-------

### ①自己評価

アンケート結果をみると、特に学生からの不満や要望は無く現状のやり方で問題が無いように思います。学生の出席率も良く、今回のアンケート実施時も12人の履修者のうち11人が出席しての回答であるので、ほぼ全員の意見が反映された結果だと思えます。また、不満があまり無かった事の一つの理由に、TAの学生が丁寧にサポートしてくれた事が大きかったことがあります。

### ②評価に対する教員の思い

項目の中で一つだけ気になるのが、「6月の授業内で授業改善シートは実施されましたか」の問いかけに、3分の1に当たる4人が実施されなかったと答えているが、実際は実施しており、忘れたのかそれとも改善シートの意味がわかっていないのかが疑問である。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

毎回のアンケートで、「シラバスを読まなかった」の回答が多いが、学生自身が自分の目指す方向をしっかりと考えて履修科目を選ぶ必要があると思います。また、この授業に限らず、実習が主な授業は特に「習うより慣れる」が基本であり、授業時間外にも作業をしてツールの操作方法に慣れていく必要があります、それを積み重ねていくことで「作品」と呼べるレベルのものが出来上がっていくと思います。



2009年度

## 教員コメント

科目名 | 52004 | 奈良の文学と風土

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	52058	データベース構築演習
-----	-------	------------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 52003 | 現代社会と倫理

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名	52002	ITリテラシー I
-----	-------	-----------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 52030 | ITリテラシー I

## ①自己評価

まず全体の傾向としてほぼ全体平均と同様の動きを示している。またそのスコアは全体平均をわずかに上回る程度であるといえる。その中で特徴的な項目は2, 3についてのみ全体平均を下回っていることである。2は主体的な努力を問う項目であり「先生に尋ねた」という選択が70%を占めている。この項目が全体平均と乖離しているのは実習的要素の強い授業であることを鑑みれば当然であるといえる。次に3はノートを取っているかどうかを問うている。これも実習であるためノートを取る機会がないことが影響していると考えられる。次に全体平均を大きく上回る項目は4である。4の自学自習を問う設問に関しては、適切な課題設定と次回の課題を明示する事の繰り返しで自学自習を促したと考えられる。また比較的评价の高い項目は11, 12である。11の教師の意欲については当然であり述べることはないが、12の私語対策については毎年心を悩ませる点であり、今後も工夫していきたい。

## ②評価に対する教員の思い

本授業は留学生を対象としたもので、教員自身はじめての体験であり、どのような評価が為されるか少々不安であった。しかしながら傾向として全体平均と同様の動きを示したこと、教員の熱意について率直に伝わっていることなどをアンケートから読み取ることができ、安堵している。全体平均を2つの項目を除いて上回ったことについては教員の能力というよりは留学生自身の学習意欲の高さに起因するものと思っている。

## ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

私語対策については引き続き工夫していきたい。17についてより高い評価がでるよう学生が授業を受けて多くのものを得たと感じられるように、後期については少し高度な内容を取り混ぜながら実習を進めたい。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 52050 | 文書作成演習

### ①自己評価

出席率や授業に対する意欲に関する評価を得られたと思う。授業の分量や難易度、内容についての説明なども適度であると評価された。また、教室外での会話やメールでの交流もして授業の改善にも役に立ったと思う。しかし、PCを使用して講義を進めていくので、他のHPやサイトなどを閲覧することも多々ある。一一注意することができない時もあるので、学習意欲を高めるための内容を取り入れたいと思う。

### ②評価に対する教員の思い

授業改善シートは実施したが、されなかったという回答も2人あり、気になるところである。また、他の学生にもすすめたくない答えもあり、授業の改善するため、具体的な意見や指摘してほしい。講義中居眠り、私用なども目立つので、注意して授業の改善を図りたい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

いろいろな教材や資料などを取り入れたい。また、講義中のPCの私用などを防ぐため、ペア、グループで作業したいと思う。また、指摘されるようDVD,ビデオなど教具の使用も取り入れて学生が満足できる授業にしたい。



2009年度

## 教員コメント

科目名	52105	外国為替論
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

## 教員コメント

科目名 | 52140 | 答案練習(憲・行・民・刑)

### ①自己評価

まず最初に、今回のアンケートの有効回答数は履修登録者13名中の3名でした。このため、自己評価の基礎となるアンケート結果から十分な判断材料が得られるのか、やや心配があります。もっとも、授業に半分以上出席した受講生は4名であったため、行った授業内容については、ある程度正確な判断材料が集まったのではと思われます。アンケート結果については、出席率が高い人による回答のためか、批判的なものは特に見当たらず、受講生の期待に概ね応えられたと判断しています。しかし、もちろん、項目2の疑問点の解決方法など、まだまだ改善の余地は多いと考えていますし、何よりもアンケートの回収率や全体の出席率が低かった点は、「是非とも出席したい」と思わせるような授業を行えてなかったことをも表しているため、この部分は深く反省して、出席率を向上させるような工夫をしなければならないと強く感じています。

### ②評価に対する教員の思い

学生諸君への要望としては、とにかくまずは授業に出席して欲しいです。もっとも、この授業は、公務員試験の対策を兼ねており、前期は、ちょうど各種の公務員試験の一次試験の実施時期と重なっていることが、出席率の低下の大きな原因の一つとなったと推測することができ、ある程度は仕方が無かったと考えています。また、期末試験の出来は、想像した以上に全体的に良くできていたので、授業には出席できなくても、各自で勉強に取り組んでいたのだと推測することができて、少し安心しました。しかし、授業に出席することで、自学自習では発見できない知識も多いはずだし、また、授業を聞いた方が理解も容易で理解の程度も深まると思われるので、授業を積極的に利用することを強く勧めたいです。もちろん、授業への出席は、受講する側の意欲だけでなく、授業を行う教員側の授業準備や授業の内容・方法の工夫改善も重要だと認識しています。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

後期に私が担当する「民法Ⅳ（債権）」は前期のこの授業のような受験対策の授業ではないので、特に受講生の学習意欲を喚起・維持させるための工夫が必要であると考えています。そのためには、授業で、ある制度についていきなり説明を始めるのではなく、まず、関連した社会で起こり得る事例や、世間的に話題となっている事例などを挙げて、受講生側の問題意識を高めてから、具体的な内容説明に入り、先に挙げた事例に当てはめてみる、といった工夫をしていこうと考えています。また、難しい法律を理解し易くするための工夫として、板書する際には図表を多用するなどしたいとも考えています。さらに、応用として、重要な判例を題材にして、復習を兼ねながらゆっくりと読み進めていくことも採用したいと考えています。また、欠席者対策として、欠席した人が途中から出席しても理解できるように、復習的な授業を途中で入れていきたいと考えています。

2009年度

## 教員コメント

科目名	53001	人権問題
-----	-------	------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 53054 | 組み込みプログラミング

### ①自己評価

全く予習復習をしない(64%)学生に対して、分かり易い(分かりにくい50%)と思ってもらえる授業を心がけた。こちらの熱意(73%)はある程度伝わったようだが、学習内容の理解には結びつかなかった(難しい82%)。

### ②評価に対する教員の思い

説明を出来るだけ丁寧にしたつもりであったが、分かりやすいと感じたのは半分にすぎなかった。この感覚は授業の難易度、即ち授業内容の理解へとつながる。予習または復習を30分程度でもすれば、かなり分かる授業が聞けると思うのだが。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

話の内容が分からないと、話し方が悪いと感じるのはやむを得ない。予習復習をしないことを前提に、より分かりやすくするために、説明の順番を変えたり、同じ説明を繰り返してできるだけ授業時間内に理解できるように工夫する。

## 教員コメント

科目名 | 54001 | 植物の自然誌

### ①自己評価

専門外の教養科目であることを考え、興味をかきたて、新しい発見があるように工夫しています。授業内容（分量、難易度）に関してみると、適当であるという評価が多く、教員による説明、準備、熱意等にも学生から見て大きな問題はないように思われます。問題点は、ほとんどの回答者が、学習意欲を刺激されたとしているものの、学生自身努力をするところまで至っていないという点にあります。さらに最も多くの回答者が、教員との教室外での対話を求めています。授業中に、植物観察などを加えているので、比較的教室内での対話がある状況と判断していますが、学生は、授業時間外の直接の対話を求めていると考えます。

### ②評価に対する教員の思い

毎回多くの資料を用意していますが、その資料を大切にしたいと思っています。実際の植物の観察は、内容の理解や興味を一層もつことに貢献していると考えています。課題を丁寧に行うことは、その内容が直接専門や将来の仕事に関わらなくても、大切なことであり、力を養うことに役立っているに違いありません。また、授業中の質問や、授業外でも自由に声をかけてくれることなど大歓迎です。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生の努力を喚起することを目標にします。そのために、まず配布した資料にノートをとることを求めます。さらに今年度毎回、課題を課しましたが、次からはその課題の内容に工夫を加える予定です。身近なものとして受け止められるように、資料作成にあたって、なるべく自分で撮影した植物の写真を使えるようにしています。さらに一層、キャンパス内の植物を使った資料となるように努力します。授業時間外の学生との交流は、週1回だけの出勤ではなかなか難しい部分がありますが、深まるようにしたいです。

## 教員コメント

科目名 | 54002 | 経営情報論

### ①自己評価

今年度も昨年同様、ゼミ形式で授業を行った。毎回、テーマごとにプリントや本のコピーを配布し、重要な箇所について指摘したり、問題提起をしてその話題について皆で話し合ったりした。こうした双方向的な授業にしたおかげで、学生の理解度や興味のあるテーマを把握しやすく、また、学生の集中力が切れかけていることを察知して、話題を切り替えることで集中力を持続させることもできた。昨年は、この形式の授業を嫌がる学生が若干いたが、今年度はほとんどいなかったため、スムーズに進めることができた。アンケートの回答数が少ないため評価は難しいが、「このままでよい」との自由記述があることから対話型の形式で授業をしたことに一定の効果があつたと考えている。

### ②評価に対する教員の思い

本科目を板書中心の講義形式で行っていたときは、授業内容のボリュームが多いと答える学生が多数だった。しかし、今回は適量だと答える学生が増えており、これはゼミ形式に変更し板書量が減少したことが影響していると思われる。不満な点が1つ解消されたとみればよかったと言えるだろう。また、すべての授業に共通したことであるが、大学の講義は知的好奇心を刺激するものでなければならない。授業の難易度が「やや難解」と答えた学生がいるが、これは常に学生に考える余地を与えているからである。一から十まで説明することが必ずしもよいことだとは思わない。わからないところを考えることに意味があるのである。そのことを理解して欲しい。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

ゼミ形式の授業が一定の成果を上げたものの、課題がないわけではない。この授業に必要な設備として「ビデオ・DVDなどの視聴」と答えた学生が数名いることからわかるように、視覚的にうったえる教材を工夫して使用することで、より効果的な授業ができるはずである。また、授業外での学生の自主的な学習を促進するような手立ても必要だろう。現状では自習努力はほとんどできていない。どこまで実効性があるかはわからないが、学生の理解度を向上させ、知識を定着させるためにも毎回の授業内容をフォローするような課題を課すといったことは今後考えなければならぬだろう。

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 54003 | 経営管理論

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 54004 | 産業組織論

### ①自己評価

回答者が出席率のよい少数の学生であったにもかかわらず、「説明は分かりやすいですか」および「学習意欲は刺激されますか」という項目で必ずしも高い評価となっていない。講義への理解度が十分でないことの表れとみることもできよう。講義予定を消化できなかったことと合わせ、反省点である。

### ②評価に対する教員の思い

「分からないことや疑問に思ったこと」について、「自力で解決した」や「友達や先輩に尋ねた」という回答があるが、アンケート後、授業中に学生諸君から積極的な質問を受けており、学生諸君とのコミュニケーションは改善されたと思う。

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

学生諸君の理解度を高めたく練習問題や復習を重ねているが、そのため、今学期も講義予定を十分に消化できなかった。両者のバランスを考慮した講義計画を考えたい。また、学生諸君とのコミュニケーションについては、学期はじめから意識的に行いたい。



2009年度

## 教員コメント

科目名	54102	国際金融論
-----	-------	-------

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--

2009年度

## 教員コメント

科目名 | 54140 | 刑事政策

### ①自己評価

--

### ②評価に対する教員の思い

--

### ③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

--